

# 平成27年度予算の概要



公立大学法人奈良県立医科大学



## 奈良県立医科大学の理念

(平成6年3月8日制定、最終改正：平成17年12月13日)

本学は、医学、看護学およびこれらの関連領域で活躍できる人材を育成するとともに、国際的に通用する高度の研究と医療を通じて、医学および看護学の発展を図り、地域社会さらには広く人類の福祉に寄与することを理念とする。

## 奈良県立医科大学の目的

(平成6年3月8日制定、最終改正：平成17年12月13日)

- 1 学部教育では、医学および看護学に関する基本的知識・技能および生命倫理・医の倫理を習得させるとともに、将来、臨床・研究・教育のいずれの分野でも活躍できる独創性・応用力と豊かな人間性を身につけた人材を育成する。
- 2 研究面では、医学、看護学およびこれらに関連する独創的・先端的研究を学際的・国際的に推進することを主眼とし、大学院では、研究・教育・臨床のいずれの領域においても指導者となり得る人材の育成を図るとともに各専門分野の高度の研究を推進する。
- 3 附属病院は、生涯に亘る臨床教育・研修の場であると同時に、奈良県のみならず我が国における指導的役割を果たす医療機関として、新しい社会的要請に対応できる体制を確立するとともに、先進的・高度医療を担う。

# 目次

平成27年度予算のあらまし	
1. 平成27年度予算の規模	1
2. 収入予算の概要	2
3. 支出予算の概要	3
4. 主な収入・支出の推移	4
5. 平成27年度部門別予算(大学)	6
6. 平成27年度部門別予算(病院)	7
平成27年度組織の整備	8
平成27年度予算の主要事業・新規事業	9
平成27年度予算編成方針	10
医大の将来像策定について	11
平成27年度計画の主な取組	13
平成27年度予算の内容	
Ⅰ 地域貢献	
地域貢献予算の概要(第2期中期計画 Ⅰ 地域貢献)	17
1-1. 医療人の育成(医師関連)	19
医師派遣システムの適切な実行	19
1-2. 医療人の育成(看護師関連)	20
2. 看護師の地域貢献	20
3. 研究成果等の地域への還元	21
4. 健康増進の県民アプローチの充実	21
5. 断らない救急医療体制の整備	22
6. 周産期医療体制の強化	23
7. 他の医療機関との連携強化	23
8. 県内医療人への助言・指導	24
Ⅱ 教育	
教育予算の概要(第2期中期計画 Ⅱ 教育)	25
1. リベラルアーツ教育の実践	26
①リベラルアーツ教育の充実	26
②学生支援体制の充実	27
③医学科の教育にかかる経費	27
④看護学科の教育にかかる経費	28
⑤学生の確保にかかる経費	28
⑥附属図書館の運営及びその他教育の運営に関する経費	28
2. 教育内容の評価	29
3. 老朽・狭隘施設への対策	29
キャンパス移転計画の推進	29

### Ⅲ 研究

研究予算の概要(第2期中期計画 Ⅲ研究)	30
1. 研究の適切な成果評価	31
2. 有能な研究者の獲得	32
3. 健康・予防医療等研究範囲の拡大	33
①研究範囲の拡大	33
②産学官連携の推進	33
③研究に必要な資金の確保	33
④寄附講座の設置	34
⑤国内外との連携	34
4. 研究環境の改善	35
①キャンパス移転計画の推進	35
②その他研究環境の改善	35

### Ⅳ 診療

診療予算の概要(第2期中期計画 Ⅳ診療)	36
附属病院の概要	37
1. 医師・看護師等の離職防止と人材確保	38
2. がん拠点病院としての機能の充実	39
3. 治療成績の一層の向上	40
①治療成績の一層の向上に向けて	40
②高度で先進的な医療の提供及び提供体制の充実	40
③病院運営に必要な経費	40
4. 患者満足の一層の向上	41
①患者満足の向上に向けて	41
②医療の安全確保	42
5. 老朽・狭隘施設への対策	42

### Ⅴ まちづくり

まちづくり予算の概要(第2期中期計画 Ⅴまちづくり)	43
1. 教育・研究部門の円滑な移転と新キャンパス整備	45
2. 地域に開かれたキャンパスづくり	45
3. 教育・研究部門等移転後の跡地活用	46
4. 移転を契機とした研究分野での地域貢献	46
5. 健康づくり・予防医療等への貢献	47

### Ⅵ 法人運営

法人運営予算の概要(第2期中期計画 Ⅵ法人運営)	48
1. ガバナンス体制の充実強化	50
①ガバナンス体制の充実強化	50
②法人の円滑な運営	51
2. ワークライフバランスの充実強化	51
3. 同窓会・歴代卒業生との連携	52
4. 繰越欠損金の解消	52

# 平成27年度予算のあらまし

## 1. 平成27年度予算の規模

**平成27年度予算 482億6,570万円**

【前年度比 +106億3,040万円 +28.2%】

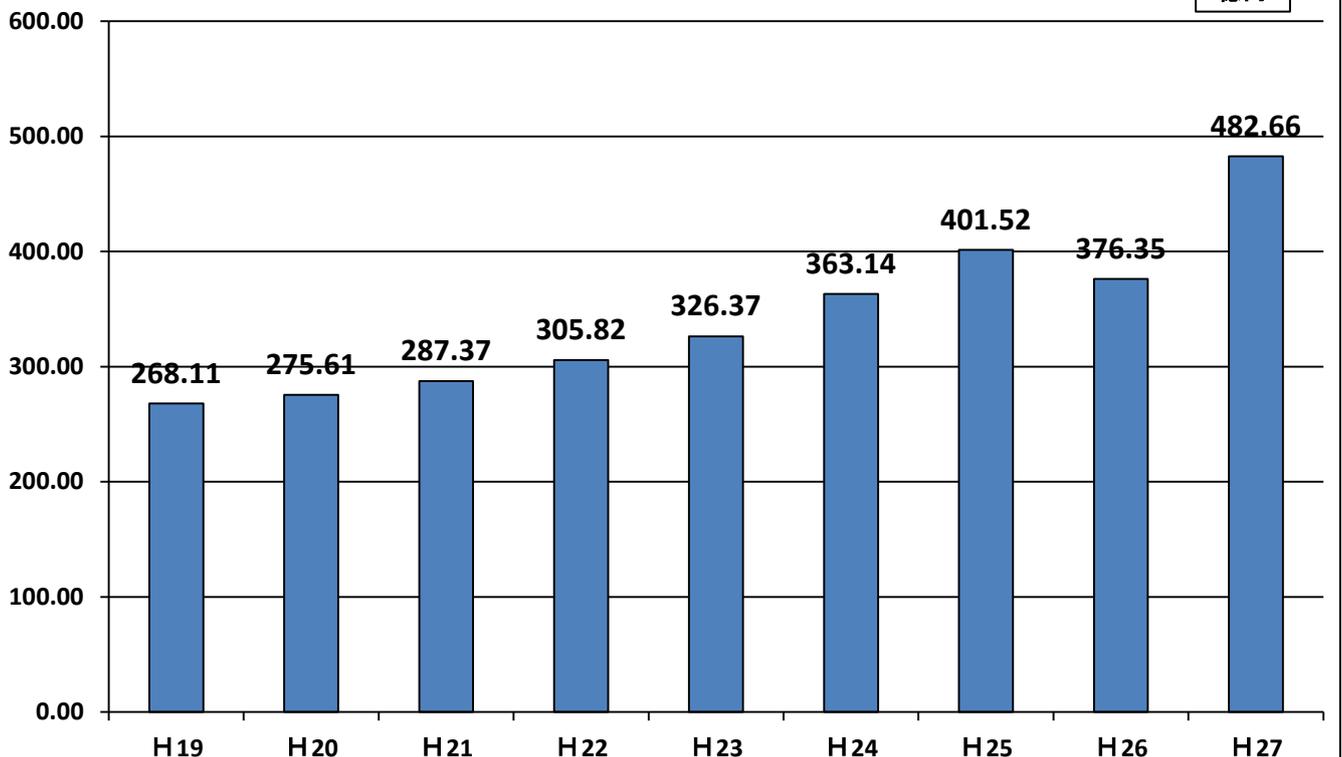
(※26年度予算 376億3,530万円)

### 予算規模の増減要因

- ・E病棟整備の第2期工事の本格化により、建設費及び医療機器購入費が増
- ・病院収入の伸びとそれに連動した医薬品費、診療材料費の増
- ・看護職員の確保、医療技術職員の増員、診療助教・医員の増員などによる人件費の増

### 予算規模の推移

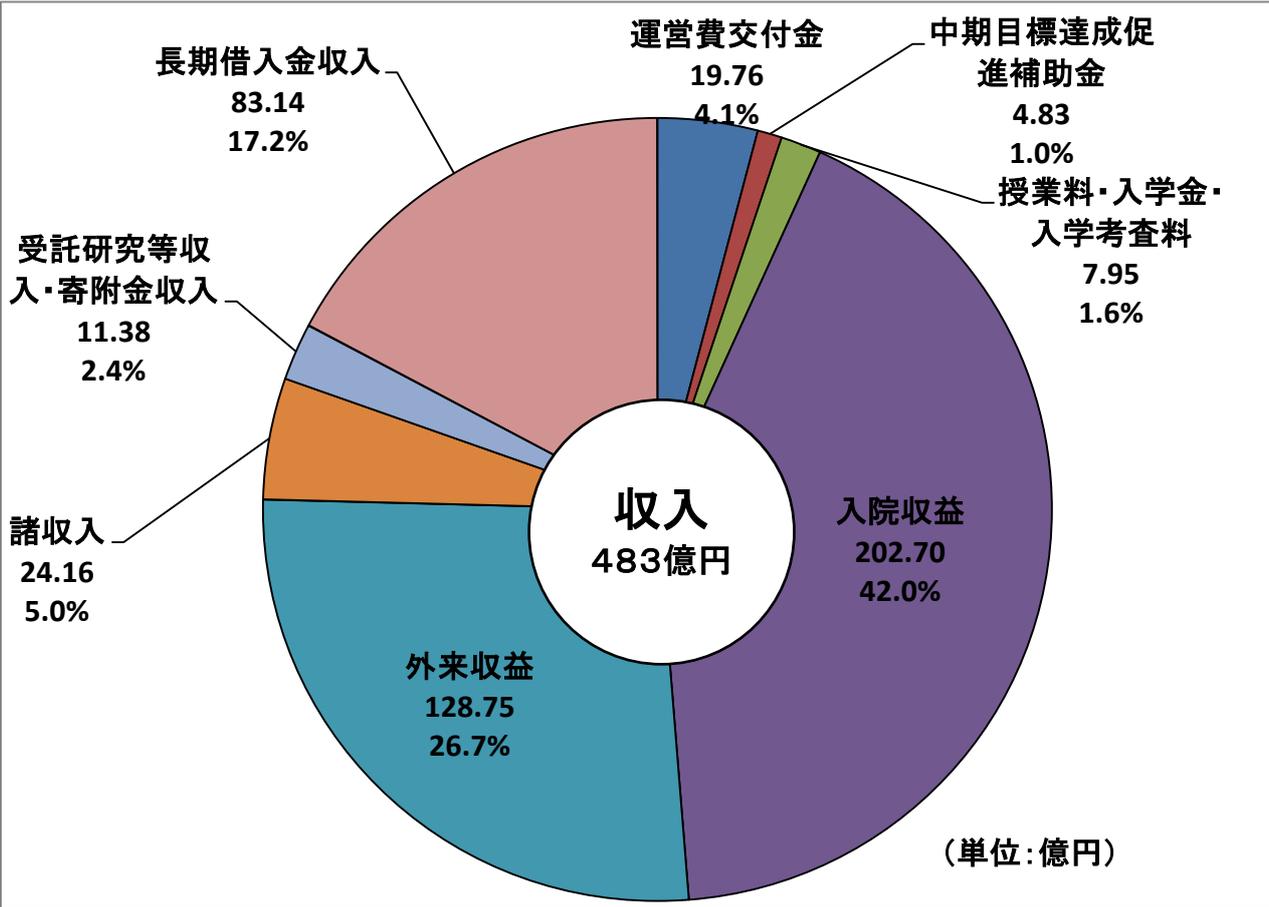
億円



## 2. 収入予算の概要

(千円)

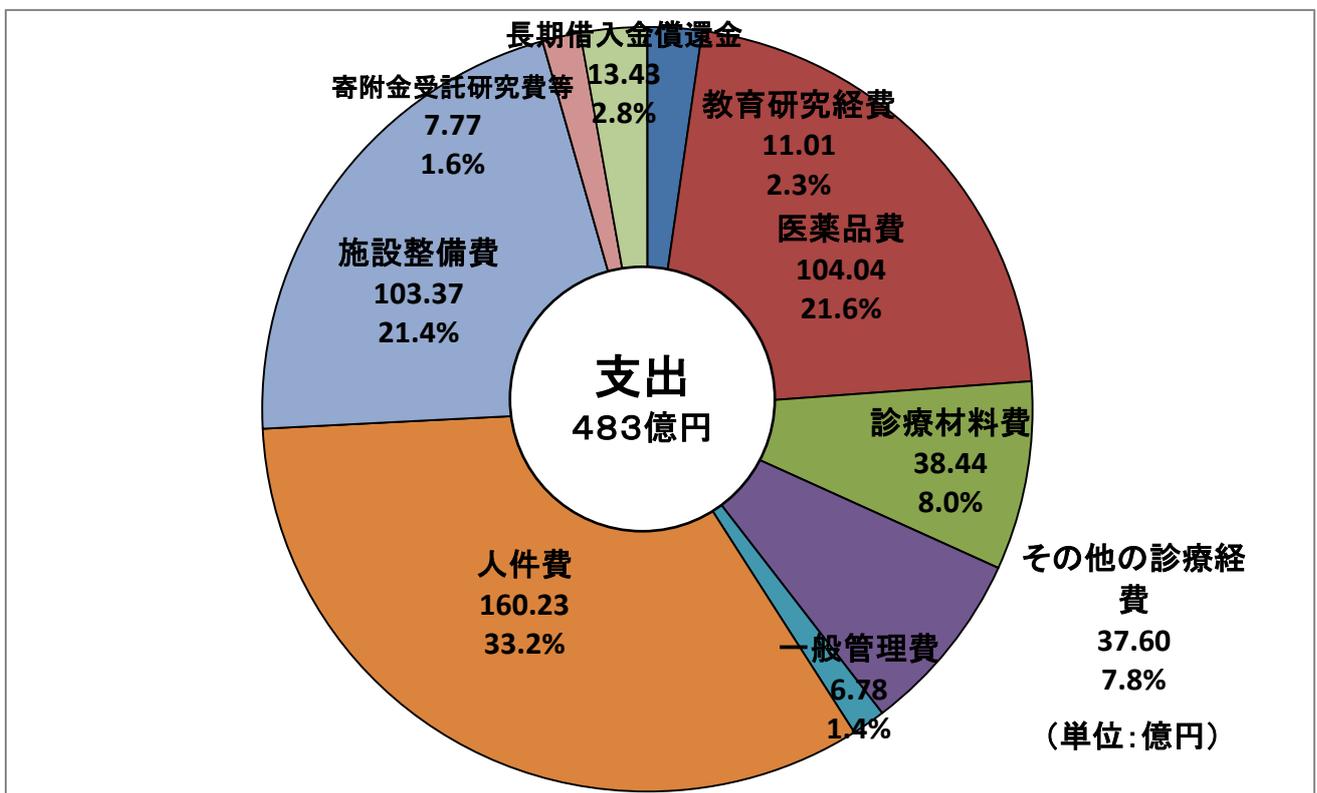
区 分	27予算		26予算		27-26	
	A	(構成比)	B	(構成比)	A-B	(増減率)
運営費交付金	1,975,700	(4.1%)	1,768,500	(4.7%)	207,200	(11.7%)
中期目標達成促進補助金	483,000	(1.0%)	409,400	(1.1%)	73,600	(18.0%)
自己収入	36,355,400	(75.3%)	33,094,700	(87.9%)	3,260,700	(9.9%)
授業料・入学金・入学考査料	794,600	(1.6%)	788,000	(2.1%)	6,600	(0.8%)
入院収益	20,270,000	(42.0%)	19,415,000	(51.6%)	855,000	(4.4%)
外来収益	12,875,000	(26.7%)	11,971,000	(31.8%)	904,000	(7.6%)
諸収入	2,415,800	(5.0%)	920,700	(2.4%)	1,495,100	(162.4%)
受託研究等収入・寄附金収入	1,137,900	(2.4%)	908,800	(2.4%)	229,100	(25.2%)
長期借入金収入	8,313,700	(17.2%)	1,453,900	(3.9%)	6,859,800	(471.8%)
合計	48,265,700		37,635,300		10,630,400	(28.2%)



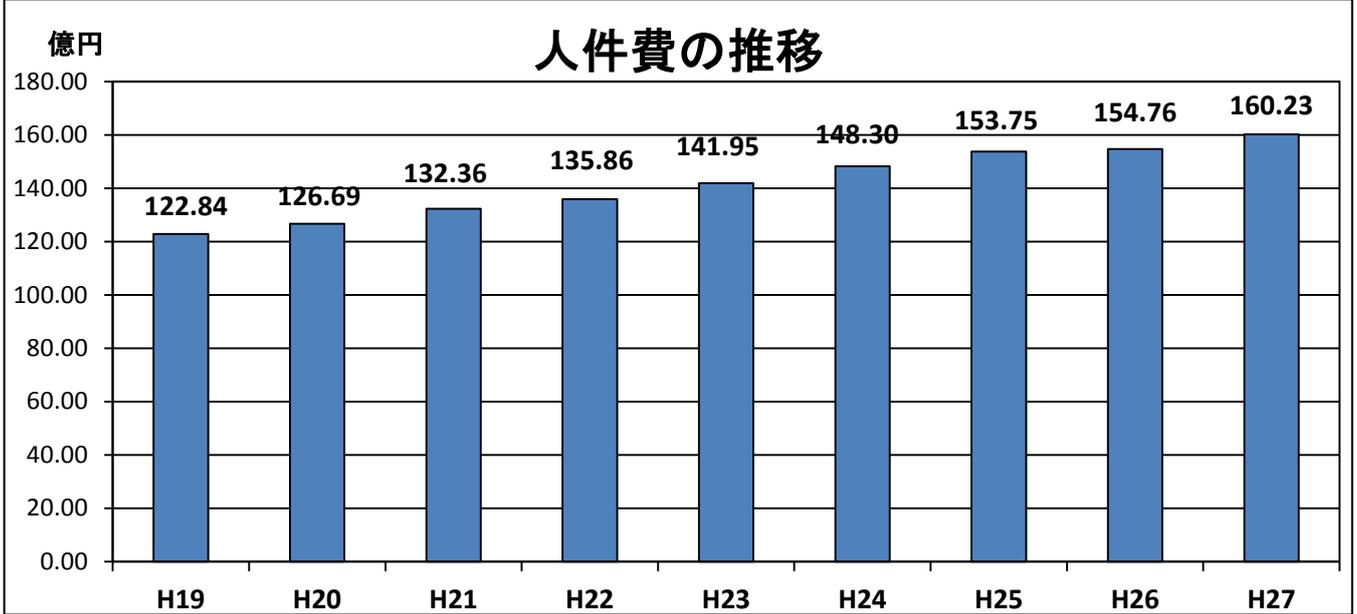
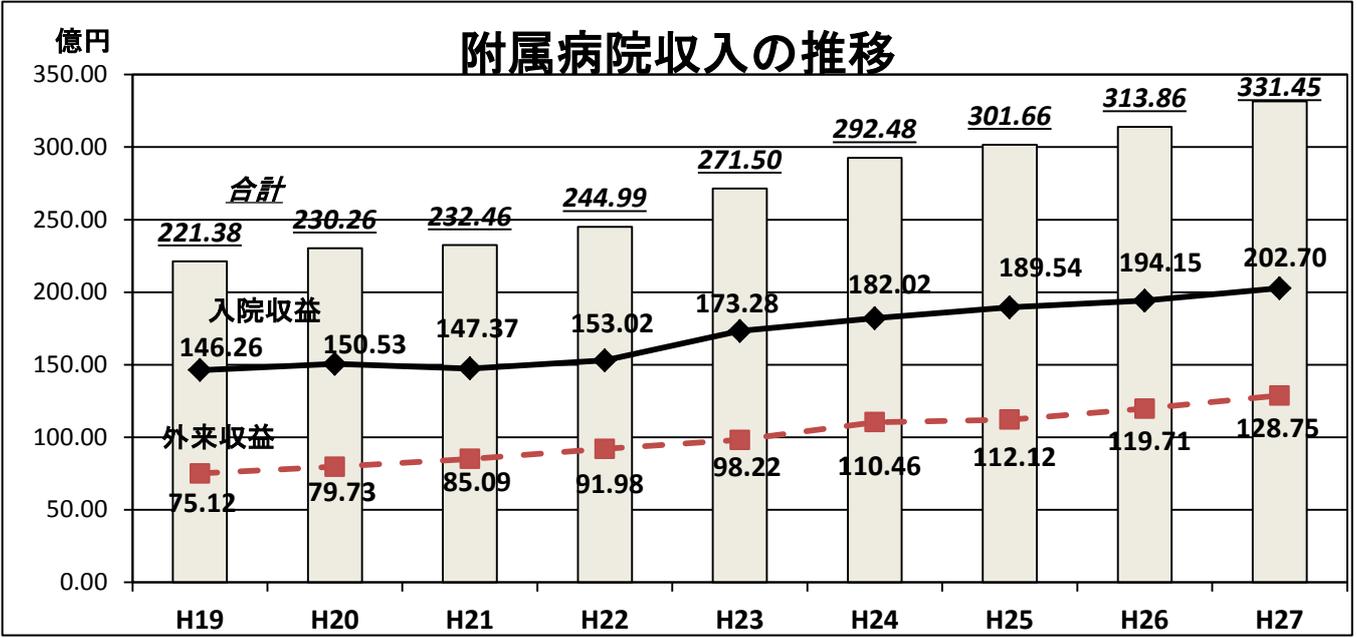
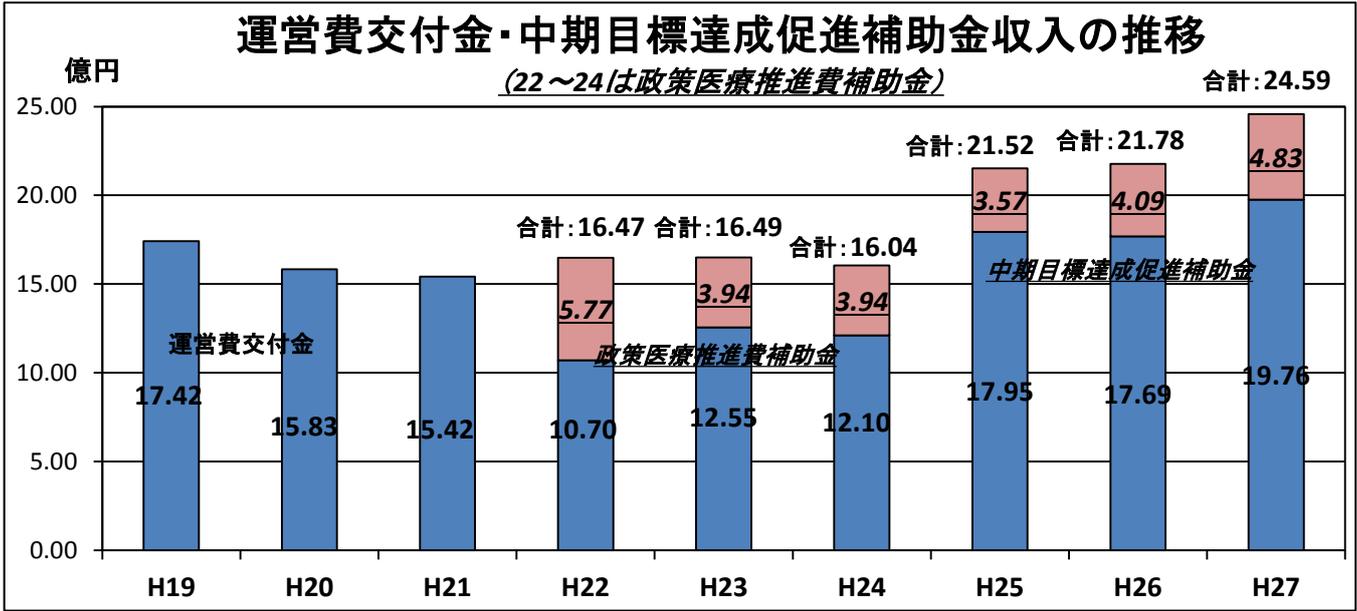
### 3. 支出予算の概要

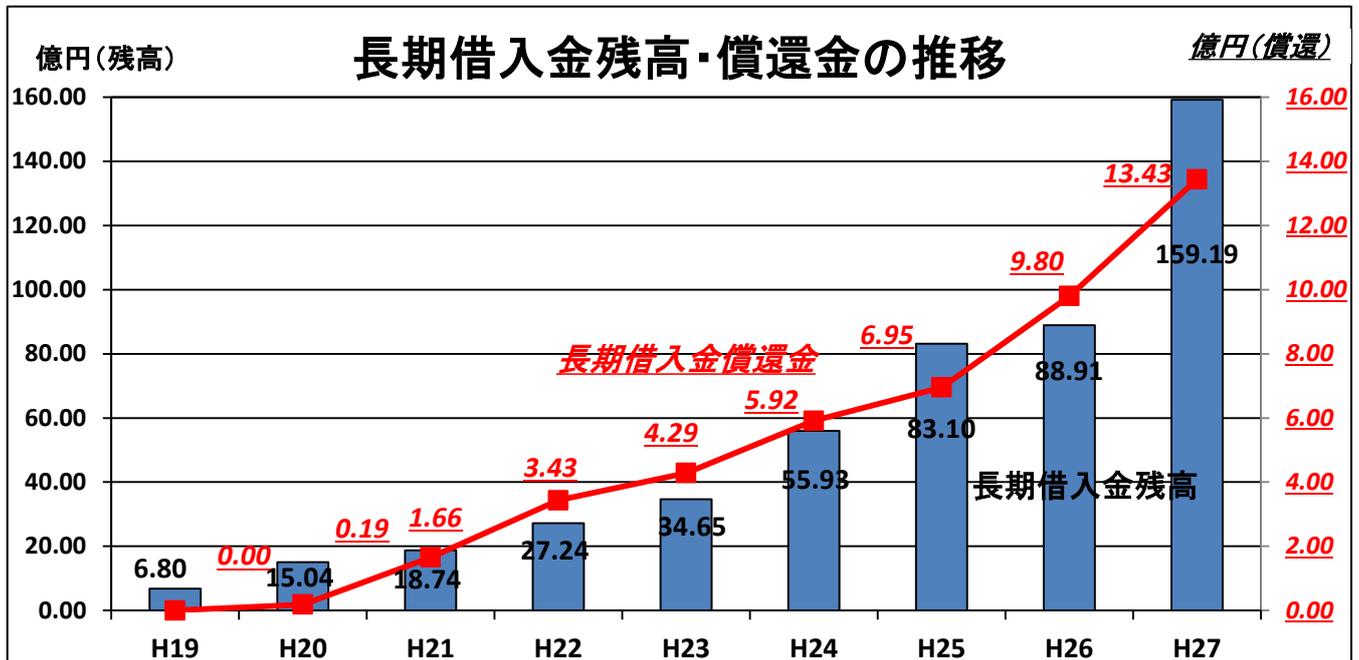
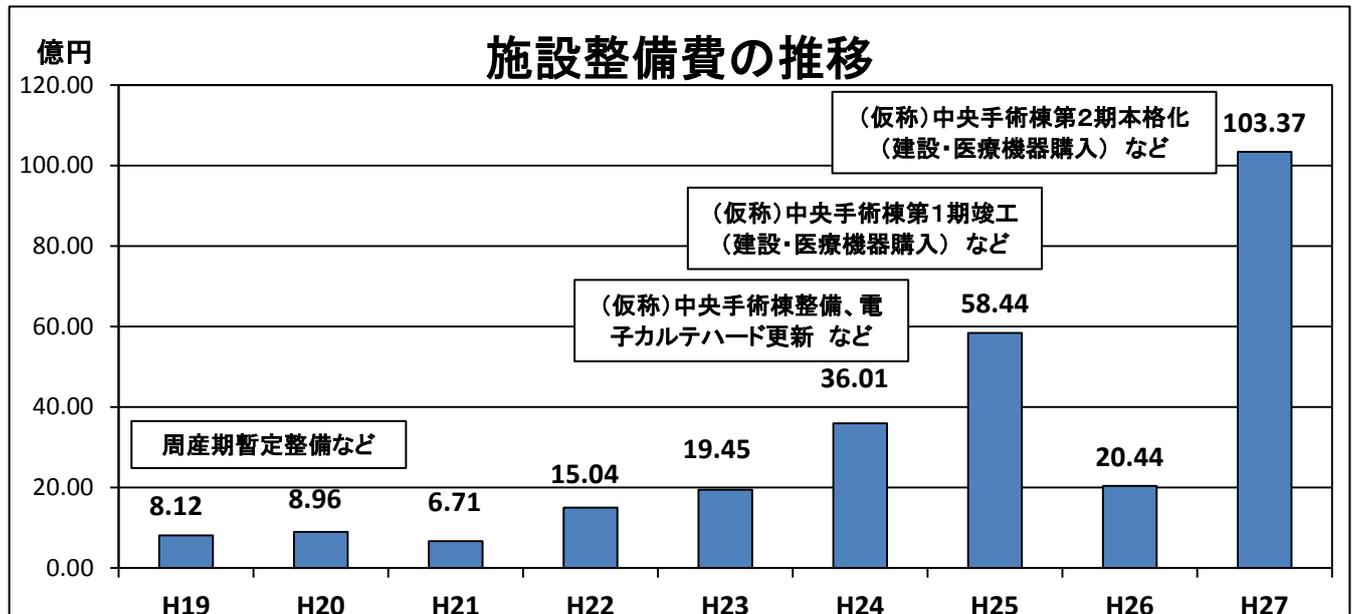
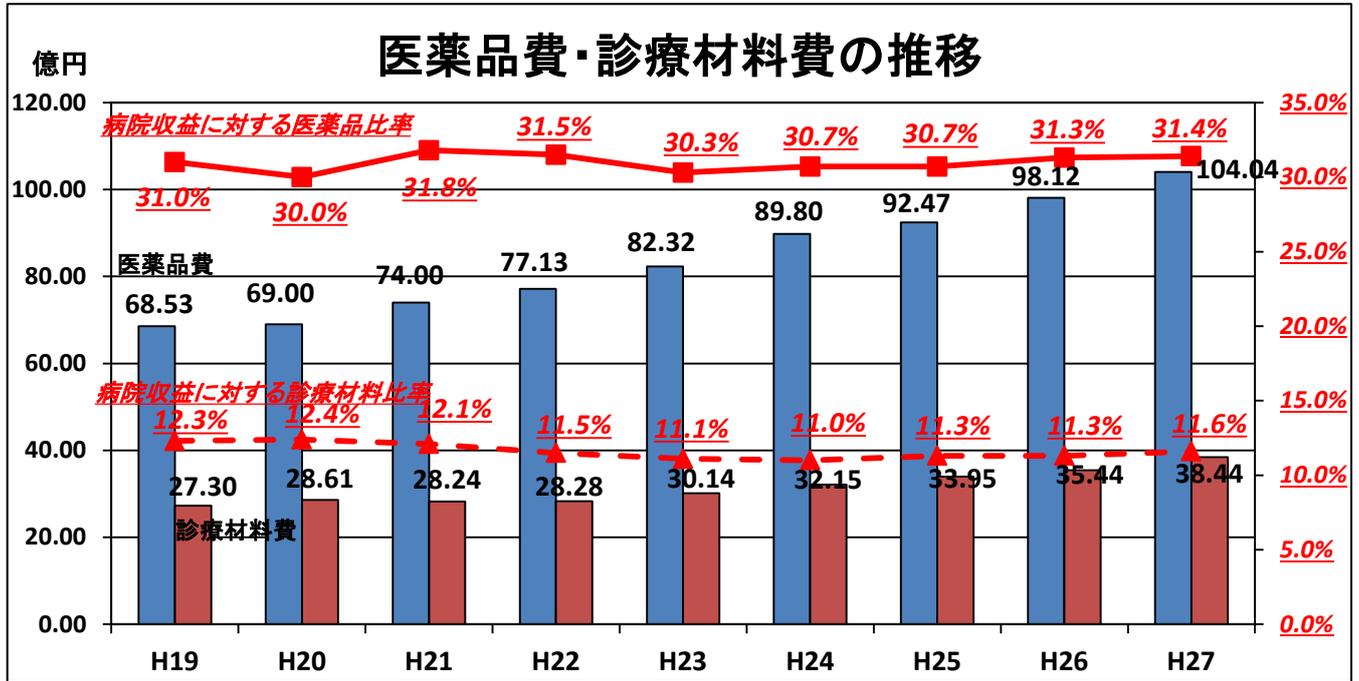
(千円)

区分	27予算		26予算		27-26	
	A	(構成比)	B	(構成比)	A-B	(増減率)
教育研究経費	1,101,100	(2.3%)	1,087,600	(2.9%)	13,500	(1.2%)
教育経費	264,400	(0.5%)	260,200	(0.7%)	4,200	(1.6%)
研究経費	714,300	(1.5%)	689,200	(1.8%)	25,100	(3.6%)
教育研究支援経費	122,400	(0.3%)	138,200	(0.4%)	△ 15,800	(△11.4%)
診療経費	18,007,600	(37.3%)	16,880,400	(44.9%)	1,127,200	(6.7%)
医薬品費	10,404,000	(21.5%)	9,812,000	(26.1%)	592,000	(6.0%)
診療材料費	3,844,000	(8.0%)	3,544,000	(9.4%)	300,000	(8.5%)
その他の経費	3,759,600	(7.8%)	3,524,400	(9.4%)	235,200	(6.7%)
一般管理費	677,500	(1.4%)	603,200	(1.6%)	74,300	(12.3%)
人件費	16,022,900	(33.2%)	15,476,100	(41.1%)	546,800	(3.5%)
施設整備費	10,336,600	(21.4%)	2,043,900	(5.4%)	8,292,700	(405.7%)
寄附金受託研究費等	776,800	(1.6%)	564,300	(1.5%)	212,500	(37.7%)
長期借入金償還金	1,343,200	(2.8%)	979,800	(2.6%)	363,400	(37.1%)
支出合計	48,265,700		37,635,300		10,630,400	(28.2%)



# 4. 主な収入・支出の推移





## 5. 平成27年度部門別予算（大学）

（収入）

（千円）

区 分	27予算 A	26予算 B	27-26 A-B
運営費交付金	1,767,700	1,585,500	182,200
中期目標達成促進補助金	234,700	188,600	46,100
自己収入	1,214,100	1,095,700	118,400
授業料・入学金・入学考査料	794,600	788,000	6,600
授業料	634,400	627,400	7,000
検定料収入	39,900	41,800	△ 1,900
入学金	120,300	118,800	1,500
諸収入	419,500	307,700	111,800
補助金収入	181,500	86,400	95,100
手数料等収入	10,600	9,800	800
財産貸付料	800	800	0
専修生、研究生受講料	16,600	17,400	△ 800
科学研究費（間接経費）	77,400	77,200	200
その他	132,600	116,100	16,500
受託研究等収入・寄附金収入	980,300	741,800	238,500
寄附金収入	820,500	550,600	269,900
受託研究等収入	159,800	191,200	△ 31,400
長期借入金収入	0	50,000	△ 50,000
保育所整備	0	50,000	△ 50,000
収入合計	4,196,800	3,661,600	585,200

（支出）

区 分	27予算 A	26予算 B	27-26 A-B
教育経費 計	264,400	260,200	4,200
学生教育関係費	115,700	120,000	△ 4,300
学生支援関係費	11,200	13,500	△ 2,300
教育管理費	64,900	58,600	6,300
系統解剖関係費	6,000	6,000	0
入試関係費	26,700	28,300	△ 1,600
奨学費	39,900	33,800	6,100
研究経費 計	714,300	689,200	25,100
教育研究関係費	117,500	97,800	19,700
教員研究関係費	285,500	275,600	9,900
総合研究施設運営関係費	96,600	99,100	△ 2,500
研究管理費	191,400	193,500	△ 2,100
科学研究費補助金（間接経費）	23,300	23,200	100
教育研究支援経費 計	122,400	138,200	△ 15,800
附属図書館運営費・管理費	92,000	97,500	△ 5,500
その他教育研究支援経費	30,400	40,700	△ 10,300
一般管理費	386,000	303,800	82,200
教育関係人件費	1,868,400	1,858,500	9,900
一般管理人件費	879,100	896,900	△ 17,800
施設整備経費	246,900	206,400	40,500
寄附金受託研究費等	678,900	407,300	271,600
長期借入金償還金	500	700	△ 200
支出合計	5,160,900	4,761,200	399,700
収支差	△ 964,100	△ 1,099,600	135,500

## 6. 平成27年度部門別予算（病院）

（収入）

（千円）

区 分	27予算 A	26予算 B	27-26 A-B
運営費交付金	208,000	183,000	25,000
中期目標達成促進補助金	248,300	220,800	27,500
自己収入	35,141,300	31,999,000	3,142,300
附属病院収入	33,145,000	31,386,000	1,759,000
入院収入	20,270,000	19,415,000	855,000
外来収入	12,875,000	11,971,000	904,000
諸収入	1,996,300	613,000	1,383,300
附属病院医業外収入	175,700	171,500	4,200
補助金収入	1,705,200	286,600	1,418,600
財産貸付料	17,500	19,800	△ 2,300
その他	97,900	135,100	△ 37,200
受託研究等収入・寄附金収入	157,600	167,000	△ 9,400
寄附金収入	3,000	13,000	△ 10,000
受託研究等収入	154,600	154,000	600
長期借入金収入	8,313,700	1,403,900	6,909,800
医療用機器整備	794,000	1,000,000	△ 206,000
MRI整備	206,000	0	206,000
E病棟整備(建築費)	3,859,800	281,600	3,578,200
E病棟整備(医療機器整備)	3,350,000	0	3,350,000
アメニティ向上整備	50,000	41,300	8,700
E病棟関連アメニティ	53,900	81,000	△ 27,100
収入合計	44,068,900	33,973,700	10,095,200

（支出）

区 分	27予算 A	26予算 B	27-26 A-B
診療経費計	18,007,600	16,880,400	1,127,200
医薬品費	10,404,000	9,812,000	592,000
診療材料費	3,844,000	3,544,000	300,000
その他病院運営費	2,395,500	2,238,100	157,400
病院管理費(光熱水費・庁舎管理)	1,009,800	951,600	58,200
その他病院管理費	96,500	96,500	0
総合医療情報システム運営経費	249,000	229,500	19,500
指導経費	8,800	8,700	100
一般管理費	291,500	299,400	△ 7,900
診療関係人件費	13,275,400	12,720,700	554,700
施設整備経費	10,089,700	1,837,500	8,252,200
寄附金受託研究費等	97,900	157,000	△ 59,100
長期借入金償還金	1,342,700	979,100	363,600
支出合計	43,104,800	32,874,100	10,230,700
収支差	964,100	1,099,600	△ 135,500

# 平成27年度組織の整備

## 組織の新設

### 1. 人事課の創設

- 総務課人事係、給与係を人事課として独立
- 障害者雇用推進、育成及び支援のため、障害者雇用推進係を創設
- 総務課出納係を財務企画課に編入

## 組織の変更

### 1. キャンパス整備推進局（基本構想策定局から名称変更）の充実

- 教育・研究機能の移転及び病院再整備にかかる基本構想の推進
- 中期計画の進捗管理(財務企画課企画係から移管、同係の廃止)
- 募金活動の本格実施
- キャンパス整備及び医大周辺まちづくり推進に向けた県との連携

## 事務部門の機能強化

### 1. 内部チェック体制の充実

- 監査室に専任職員を配置し、監査機能を強化

### 2. 物品購入、検収等の事務の充実

- 研究推進課研究推進係に検収担当職員を配置し、研究費に係る物品検収業務を実施（研究費以外の検収については財務企画課出納係において検討を進める）
- 病院管理課用度係の職員構成を見直し、物品購入効果検証を徹底

### 3. 係の新設・名称変更など

(係の新設)

- 財産管理課エネルギーセンター 建築係

(係の廃止)

- 財産管理課 E棟建設係

(係の名称変更)

- |          |        |   |          |
|----------|--------|---|----------|
| ○総務課     | 総務係    | → | 総合調整係    |
| ○教育支援課   | 厚生・入試係 | → | 入試・学生支援係 |
| ○医療サービス課 | 入院レセ係  | → | レセプト係    |
| ○地域医療連携室 | 前方支援係  | → | 医療機関連携係  |
|          | 後方支援係  | → | 退院調整係    |

# ◆平成27年度予算の主要事業・新規事業

## 教育・研究



### 新「奈良県立医科大学教育改革2015」の実施

- 医大の将来像策定会議での議論を踏まえ、教育改革を実施
  - ・医学科・看護学科の一般教育部門を教養教育部門として統合
  - ・看護学科に在宅看護学を新設
  - ・「良き医療人育成のためのプログラム」を策定
  - ・臨床英語教育の充実
  - ・「奈良学」の実施 など

### 新 学生研究活動支援事業 1,000千円

学生がカリキュラム外で自主的に行う研究活動を支援

### 新 医学教育認証制度受審事業 2,000千円

「国際基準に対応した医学教育認証制度確立」事業の一環として実施される「医学教育分野別評価試行」の受審のための経費

### ○ 学生アメニティ向上事業 7,100千円(②10,700千円)

学生が利用する学内施設設備等の整備や課外活動の支援など、学生生活の向上を支援

### ○ 附属図書館の運営充実 77,300千円(②70,000千円)

円安等で高騰する電子ジャーナル購読経費への対応などにより附属図書館の安定した運営を継続

### ○ 附属図書館の設備充実 7,400千円(②20,000千円)

3階自習室の机・椅子等の整備、トイレ改修など附属図書館の充実を図る

### ○ 大和漢方医学薬学センターの運営 10,800千円(②11,300千円)

産学官連携による漢方医学の研究等、奈良の産物を生かし、地域に役立つ独自性のある研究を推進

### ○ 糖尿病学講座事業 30,000千円(②30,000千円)

### ○ 地域医療学講座事業 27,000千円(②28,400千円)

県からの交付金を財源に講座を設置し、研究を継続

### 新 匿名化システム構築事業 1,300千円

ヒトゲノム・遺伝子解析研究などの試料の匿名化システム構築経費

### ○ 特別研究活動助成事業 25,000千円(②25,000千円)

大学全体の研究活動の一層の活性化を図るため、全学的・横断的に取組む共同研究を支援

### ○ 若手研究者研究活動助成事業 5,000千円(②5,000千円)

優れた学術研究を行っている若手研究者に対し、更なる研究の発展を支援

### ○ 研究医養成コースの運営 26,000千円(②21,600千円)

研究医養成コースの運営にかかる経費や奨学金

### ○ 医学科・看護学科教員研究費 167,500千円(②176,500千円)

用途の検証・配分基準の変更検討、講座研究費中央費の廃止など  
(※前年度からの繰越分を除く)

## 地域貢献



### ○ 県立医大医師派遣センターの運営

### ○ 県費奨学生配置センターの運営 19,700千円

県内の医師派遣システムを適切に実行

### ○ 看護実践・キャリア支援センターの運営 14,800千円(②25,800千円)

看護学科卒業生の県内定着の促進及び学生・看護師のキャリア支援を実施

### ○ 県民健康増進支援センター運営費 18,800千円(②24,500千円)

市町村や県の健康増進事業に協力するとともに、予防医学や健康づくりの適切な情報や研究成果を提供

### 新 奈良県健康長寿大規模コホート助成事業 24,000千円

「奈良県健康長寿コホートスタディ」に資するため、県内在住者、通学・通勤者、医療機関受診者を対象とした本学教員が行うコホート研究に対し助成

### ○ 周産期医療体制の強化 12,100千円(②12,200千円)

母体・新生児搬送コーディネーターの運営、新生児蘇生・救急講習会の実施など

### ○ 認知症疾患医療センターの運営 1,300千円(②1,500千円)

他機関との連携による認知症者への支援の充実及び認知症に関する診断・治療技術の向上を推進

## 法人運営



### 新 奈良医大プロモーション事業 5,000千円

本学の医療資源や技術、人材などを対外的に広く周知するため、プロモーションビデオ作成や県内外でのイベント等を実施

### 新 開学70周年記念事業 11,000千円

開学70周年を記念して式典を開催、記念誌を発行

### 新 募金推進事業 9,700千円

開学70周年記念を契機として、新キャンパスに学生会館機能を含む施設を整備するため募金を開始(募金は「未来への飛躍基金」へ基金造成)

### 新 ワークライフバランス充実強化事業 3,000千円

職員の意識調査、部分休業代替職員の確保など

### ○ なかよし保育園の運営 89,500千円(うち法人負担 46,400千円)

職員の保育ニーズに対応するため、定員増(+30名)、運営委託、病児保育委託を実施

### 新 ペーパーレス会議システム導入 6,500千円

会議資料のペーパーレス化を推進するため、タブレット端末を活用したシステムを試験導入

### 新 職員証の発行 16,000千円

利便向上、MBT構想への対応等のため電子マネー機能付の職員証を新たに発行

## 診療



### 新 土日24時間ER体制の実施

県が推進する「断らない救急医療」に寄与するため、土曜日9時～月曜日9時までのER体制を実施

### 新 ER体制整備支援委託事業 3,000千円

ER体制の更なる拡充のため、今後の体制整備のあり方などについてコンサルティング会社に委託

### ○ E病棟整備事業 8,724,900千円(②389,000千円)

中南和地域における高度医療拠点病院として機能充実を図るため、新病棟を建設

### ○ E病棟整備関連アメニティ整備 54,400千円(②81,100千円)

E病棟整備に関連して、既存病棟のアメニティを充実(通路、中庭等の改修)

### ○ MRI整備 206,000千円

県からの借入金を財源に、MRI増設工事を実施

### ○ 患者アメニティ向上事業 52,500千円(②10,000千円)

患者に快適な環境を提供するため、外来診察エリアの壁、床等を改修

### ○ 医療用備品の整備 927,500千円(②1,120,000千円)

県からの長期借入金等を財源とし、医療用備品整備枠を確保

### 新 病院TQM推進事業 1,000千円

本院のTQMを推進するため、職員が自ら提案するTQM大会を実施

### 新 eラーニング運営事業 5,000千円

医療安全や感染管理に関する研修の受講率向上のため、eラーニングを導入

### 新 食事提供業務委託 435,700千円

患者満足度向上などのため、食材調達を含めた食事提供業務の全面委託を実施

## まちづくり



### 新 奈良医大MBTコンソーシアム事業の推進

MBT(医学を基礎とするまちづくり)構想実現のため、民間活力を導入する目的で結成する奈良医大MBTコンソーシアムに関連する事業を推進

### ○ 大学移転推進事業 50,000千円(②75,300千円)

医大の将来像、施設整備基本構想、施設整備プランの策定支援を委託

### 新 将来像広報事業 3,900千円

「医大の将来像策定会議」で検討中の「医大の将来像」について広く周知を図る

### 新 医大周辺まちづくりプロジェクト事業 75,000千円

移転先の土壌調査、文化財試掘調査、現キャンパス内道路の検討経費など

### 新 ゲストハウス整備事業 50,000千円

MBT構想の一環として、橿原市今井町に本学のゲストハウスを整備

# 平成27年度予算編成方針

## 1. 予算編成を通じて目指すもの

### 中期計画の着実な実行

平成27年度で3年目を迎える第2期中期目標を確実に達成するため、引き続き中期計画の着実な実行に努める。

### キャンパス移転・老朽化施設改築の推

法人の将来を方向づける、キャンパス移転・老朽化施設の改築を、円滑かつ早急に進める。

### 効率的・効果的な法人経営の実現

厳しさを増す法人経営を効率的・効果的に進めるため、ガバナンス体制の充実強化、PDCAサイクルの着実な実行、コンプライアンスの推進などを実施するとともに、優秀な人材確保のため、ワークライフバランスの改善を図る

## 2. 予算編成方針の骨子

中期計画の実行に関わる取組、キャンパス移転・老朽化施設改築を推進するための取組については、学内外での議論や進捗状況を踏まえ、必要な予算を確保する。

繰越欠損金の解消(中期目標VI-4)に向け、黒字予算を編成するため、獲得のために必要とする経費を勘案して収益を見積もるとともに、経費削減、枠配分経費の圧縮検討などを実施し、利益確保を図る。

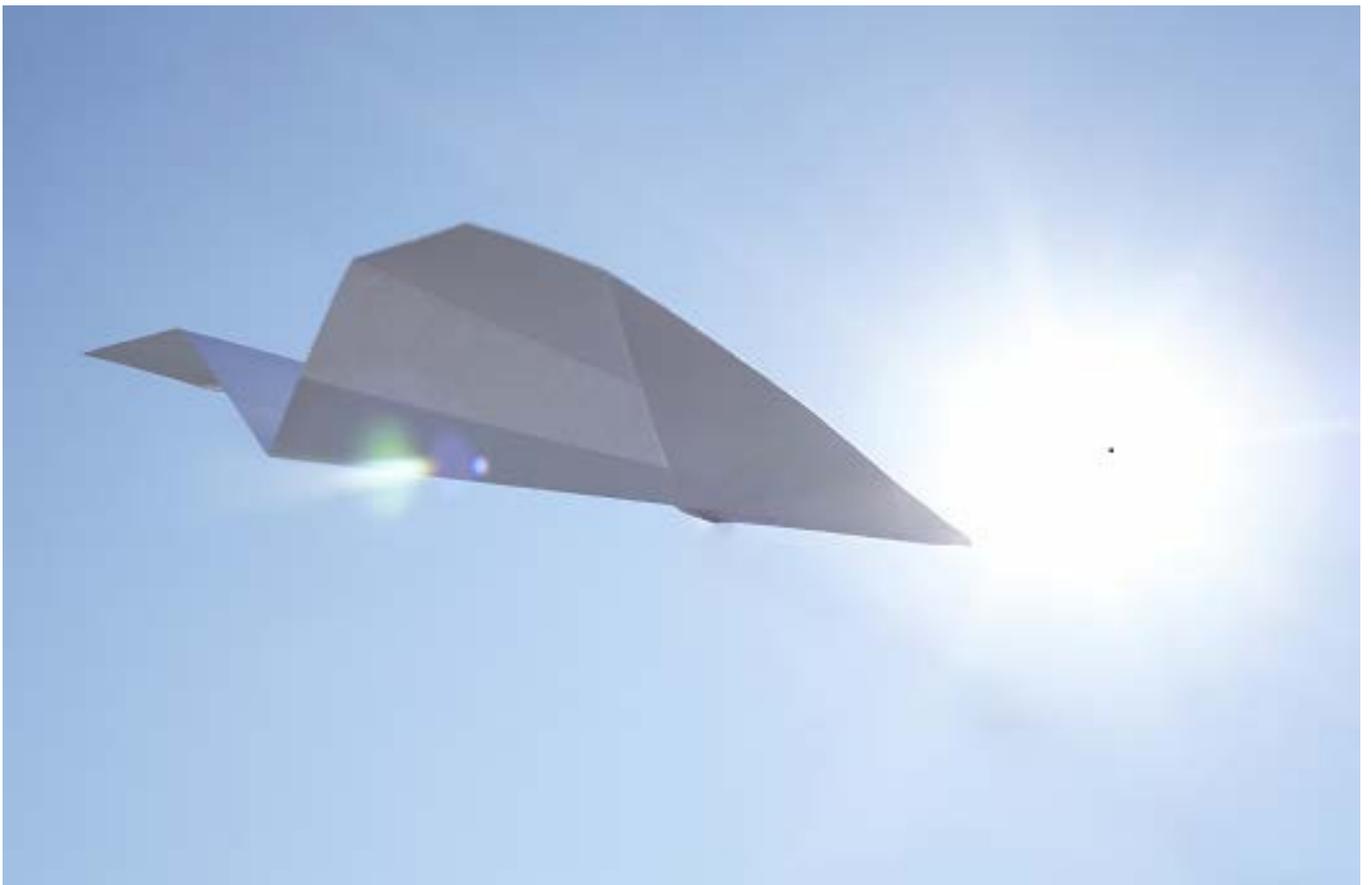
主要な取組については、費用対効果の検証を徹底し、取組内容の見直し・改善を図る。

主要な取組について、決算分析などの効果検証を行い、その結果報告および改善手法について予算協議時の資料として提出を求める（PDCA実施報告書）

主要な取組について、必要経費に見合った適正でかつ努力分を加味した到達目標と管理・評価指標の設定を行い、予算協議時に提出を求める

施設・設備への投資や人的投資などについては、投資効果の見通しおよびその検証方法・時期、責任の所在を明確化し、予算協議時に提出を求める

# 医大の将来像策定について



# 医大の将来像策定について

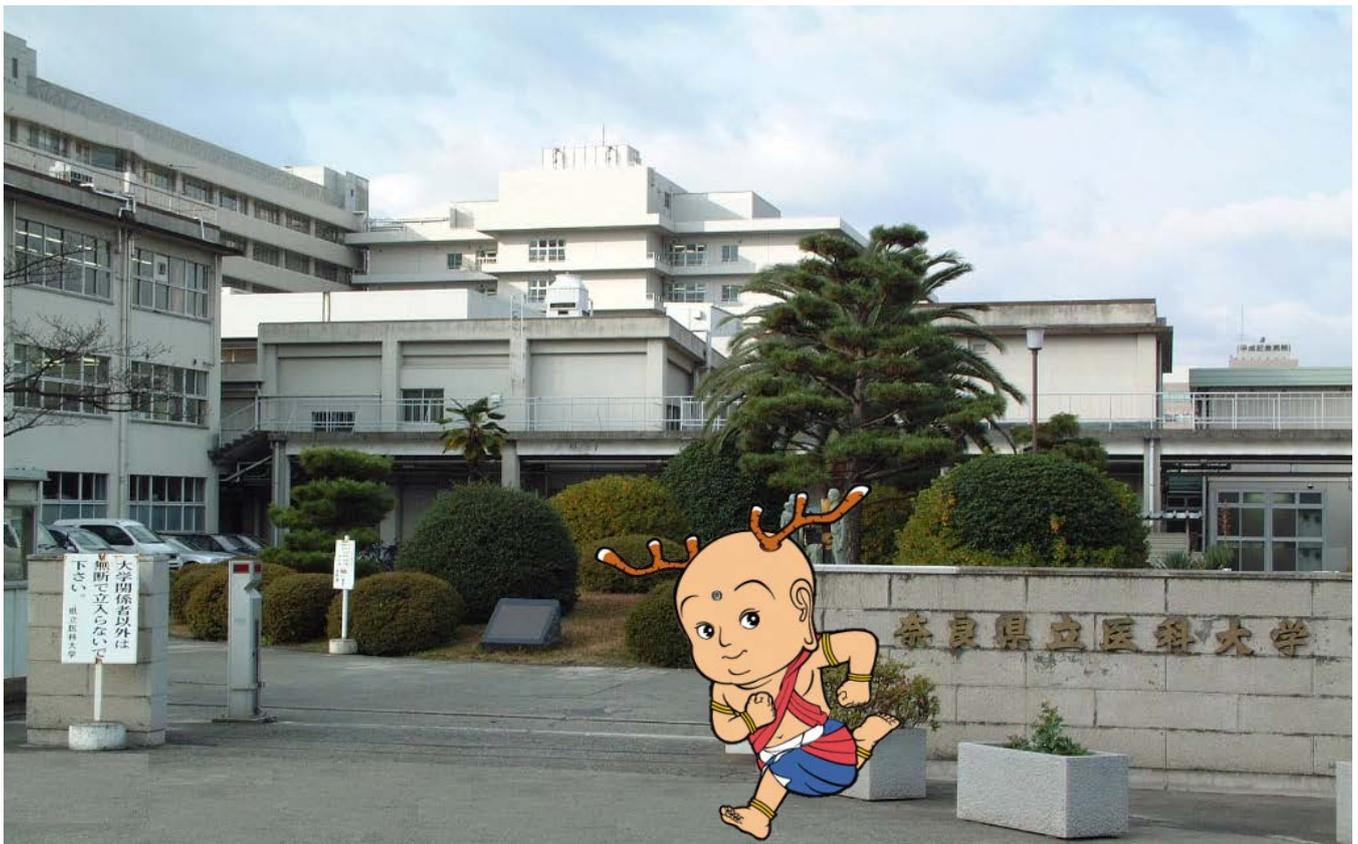
## 本学の「将来像」について ～「中期計画」と「将来像」～

- 法人が策定した第1期、第2期の中期計画は、県が定め法人に指示する中期目標を達成するため、6年間の中期計画期間において実施する取組を定めたものであり、中期計画期間を超える長期的観点から法人が目指すべき目標・方向性を定めた「目指すべき将来像」とも呼ぶべき長期目標がかねてより求められていた。
- 一方、第2期中期計画に掲げたキャンパスの移転・整備については、県と共に構想・計画を策定することとしているが、今後数十年にわたり本学諸活動のフィールドとなる新たなキャンパス・施設は、将来の教育・研究・診療のあり方を規定する重大なテーマであるため、整備内容の検討に先立ち、数十年後の将来を見据えて、どのような大学・附属病院を目指すのか、本学の「目指すべき将来像」を明らかにすることが必要とされている。
- このような状況を本学のさらなる発展に向けた「新たな飛躍」の好機と捉え、現在、本学と県が共同で、本学の「建学の精神」とも呼ぶべき根本理念を改めて明確にするとともに、教育・研究・診療それぞれの「目指すべき将来像」及び「その実現のための方向性・取組」を、本学の『将来像』として新たに策定すべく検討を進めているところである。
- 今後、早急に『将来像』を取りまとめ、中期計画の前提となる本学の根本理念、将来に向けた歩みの方向性として、学内関係者が共有し、これを道標として着実に新たな奈良医大を築いていくことが求められる。

## 将来像の策定と実現に向けた取組

事業名	内容	予算額 (千円)
基本構想関連業務支援委託	医大の将来像・施設整備基本構想(ソフト面)の策定支援を委託	20,000
基本構想関連その他業務委託	医大の将来像・施設整備基本構想に関連した各種業務委託	10,000
(新)将来像広報事業	医大の将来像策定会議で検討中の医大の将来像について広く周知を図り、その実現に向けた取組を着実に進める。	3,900

# 平成27年度計画の主な取組



# 平成27年度計画の主な取組

## I 地域貢献

- 県立医大医師派遣センターを円滑に運営するためにセンターの機能等について学内外に周知を図る。
- 引き続き南奈良総合医療センター等への医師配置支援のために当該病院等の実態やニーズの把握を行う。
- 新「奈良学」のカリキュラムを試験導入する。
- ・看護学科学生への系統だったキャリアデザインプログラムを作成し、実施する。  
・看護師の教育指導者育成プログラムを作成する。  
・既卒学生の進路選択アンケート結果を分析し、活用する。
- OMBTの研究成果を生かして、国へ申請する「地域再生計画」に基づく諸事業に着手する。
- ・健康長寿大規模コホート研究について学内公募を実施する。  
・健康長寿大規模コホート研究の対象研究を決定する。
- ・「断らない救急医療」実現のための体制整備のため、引き続き、院内で救急医療運営委員会や救急医療プロジェクト会議等において協議を重ねるとともに、関連病院や県との連携を図る。  
・本院総合診療科・救命救急センターを中心とした土日ERを開始する。

## II 教育

- 「良き医療人育成のためのプログラム」を策定する。
- ・教員を対象とした研修会を実施し、研修結果を分析・評価する。  
・新任教員の受講義務化を推進する。

## III 研究

- 医大の将来像策定会議の結果を受けて、重点研究推進計画案を作成する。
- 医大の将来像策定会議の結果を受けて、研究推進戦略本部で今後の評価体制を整備する。
- 学生の自主的な研究活動に対する支援制度を構築する。
  - ・ 学生が学会、勉強会等へ参加する際の交通費を助成
  - ・ 学生が自主的かつ継続的に各教室に出入りして研究活動を行った場合、当該教室に学生研究活動費を交付
- 研究推進戦略本部において、特別共同研究助成事業や若手研究者研究助成事業の募集、対象者決定、助成など引き続き実施する。

## IV 診療

- がん診療に関する施設・機器を整備し充実を図る。
  - リニアックの増設、SPECTCTへの更新、PETCTの新設
  - ・放射線療法医師、化学療法医師等のがん専門医の育成・確保に努める。
    - がん薬物療法専門医の増加
    - 放射線治療専門医をさらに増員
  - ・がん専門医臨床研修事業等、がん医療に携わる人材の養成のための研修を実施する。
    - 都道府県がん診療連携拠点病院研修会の開催
  - ・がん診療連携拠点病院間の役割分担と連携を推進し、がん診療提供環境の整備、充実を図る。
  - ・がん相談専門員研修を受講させるなど、相談員のがん相談スキルを向上させる。
- 前年度のホスピタリティマインド醸成研修の実施状況や研修参加者の意見を総合的に勘案し、全ての病院職員がより参加しやすく、より効果的で魅力のある研修が実施できるよう研修内容を検証のうえ実施する。
- E病棟の平成27年度内の竣工を目指し、Ⅱ期工事及び関連の調整を推進する。

## V まちづくり

- 新旧キャンパス整備の前提となる「本学の目指すべき将来像」について、法人構成員との情報共有・意見交換により合意形成を図りながら、県と医大が合同で設置・運営する「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、教育・研究・診療等の各分野ごとに検討を進め、策定を行う。
  - ・引き続き、将来像の実現に必要な施設整備について、「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、その基本的な考え方を「施設整備基本構想」として取りまとめるべく、検討を進める。
  - ・具体的な整備計画となる「施設整備プラン」については、「施設整備基本構想」と併行して、素案の検討を進める。

## VI 法人運営

- 中期計画・平成27年度計画について、27年度における重点管理項目を定め、項目責任者による執行役員会議において進捗管理を行う。加えて、同会議において、平成26年度の法人自己評価を行うとともに、県評価委員会の評価結果を各部局にフィードバックする。これらにより、平成27年度計画の実施において、法人自己評価の評定A(「年度計画を十分実施している」)以上の項目割合を90%以上とする。
- 同窓会と連携し、開学70周年記念式典の開催および記念誌の発行を行う。
- 開学70周年を契機に、医学科・看護学科同窓生に対し、大学移転を踏まえた教育・研究環境の整備・充実のための寄附金の募集を行う。
- 適切な水準の病床稼働率の確保、平均在院日数の適正化、施設基準の取得・維持等により診療収入の確保を図るとともに、精度向上による診療報酬請求の一層の適正化、債権の適正な管理による未収金の抑制を図る。
  - また、H28診療報酬改定の情報を収集し、必要な対応方針を決める。

# 平成27年度予算の内容



# I 地域貢献



# 地域貢献予算の概要

## 第2期中期計画 I 地域貢献

### 1 医療人の育成（医師関連）

- 教養教育等を通じ奈良への愛着、県内の地域医療に対する意識を涵養するとともに、(仮称)県立医大医師派遣センターを設置・運営し、県内への高い就職率を確保する。
- (仮称)県費奨学生配置センターを設置し、県等との連携のもと、医師派遣システムを構築することにより、地域に必要な医師配置の実現に積極的に寄与する。

### 医療人の育成（看護師関連）

- (仮称)看護実践・キャリア支援センターを設置・運営する等、看護学生の就労支援を行い、県内就職率の向上に努める。

### 2 看護師の地域貢献

- 認定看護師・専門看護師を増やすとともに、附属病院看護部と看護学科が協働・連携する体制を構築し、看護職員等の教育・研修プログラム及びキャリア支援を充実させることにより、地域の看護師のレベルアップを目指す。

### 3 研究成果等の地域への還元

- 住居医学講座や(仮称)大和漢方医学薬学センター、スポーツ医学講座等を核として産学官連携による研究推進に取り組む。

### 4 健康増進の県民アプローチの充実

- 市町村や県が実施している健康増進事業に協力するとともに、予防医学や健康づくりの適切な情報や研究成果を提供することにより地域住民のセルフケアを支援する。

### 5 断らない救急医療体制の整備

- 県内の救急医療に関する諸機関の連携体制のもと、重篤な救急患者の受入を中心に、病院全体として断らない救急医療の実現に取り組む。

### 6 周産期医療体制の強化

- 総合周産期母子医療センターの機能充実と施設間ネットワークとの連携を図ることにより母体・新生児搬送受入率100%を目指すとともに、周産期医療を担い推進する人材(新生児科医、産科医、小児科医、小児外科医、助産師、看護師等)を養成する。

### 7 他の医療機関との連携強化

- 各種地域医療連携パス、退院調整の効果的な運用、地域医療連携連絡協議会の活性化、連携登録医制度の導入による逆紹介等の促進により、地域医療連携をより一層推進する。また、基幹型認知症疾患医療センター、中核的な緩和ケアセンターを設置・運営する。

### 8 県内医療人への助言・指導

- 県・市町村医師会や県看護協会と協働して、最新技術・情報を学べる研修やスキルスラボ実習を企画・実施するとともに、メーリングリスト等を活用した情報発信を行い、県内医療人のレベルアップに貢献する。

## 1-1. 医療人の育成（医師関連）

### 医師派遣システムの適切な実行 （（仮称）県立医大医師派遣センターの設置・運営）

#### 平成27年度 年度計画

- (1) 県立医大医師派遣センターを円滑に運営するためにセンターの機能等について学内外に周知を図る。
- (2) 引き続き南奈良総合医療センター等への医師配置支援のために当該病院等の実態やニーズの把握を行う。
- (3) 新「奈良学」のカリキュラムを試験導入する。

(千円)

事業名	内容	予算額
県立医大医師派遣センターの運営	県内の公立・公的病院等からの医師派遣要請に対応し、医療需給の分析を踏まえて医師のマッチングを行う県立医大医師派遣センターを運営	
地域医療学講座事業費	県からの補助金を財源に、地域医療に関する研究を行う講座を設置(人件費及び研究費)	27,000
(新) 教養教育部門の新設	医学部として統一した一般教育を実施するため、医学科・看護学科の一般教育組織を統合	
リベラルアーツ充実事業	リベラルアーツ教育の充実を推進するため、カリキュラム編成業務体制を強化するとともに、臨床英語教育や「奈良学」を実施、教養図書を拡充	2,500
地域医療教育支援事業	県内で地域医療に従事しようとする医師を確保するため、センター実習等を推進	900

### 医師派遣システムの適切な実行 （（仮称）県費奨学生配置センターの設置・運営）

#### 平成27年度 年度計画

- (1) 県費奨学生の配置のための年間スケジュールを作成するなど、着実な運営に努める。
- (2) 引き続き南奈良総合医療センター等、県内の医療実態とニーズを県と連携して把握し、県費奨学生の配置先を決定する。
- (3) 引き続き県費奨学生のキャリアパスを構築しその適用に努めるとともに、地域に貢献(地域に配置)する医師を育成する。

(千円)

事業名	内容	予算額
県費奨学生配置センターの運営	県費奨学生の配置を行う県費奨学生配置センターを運営(地域医療支援センター事業委託費として 4,700千円)	4,700
地域医療学講座事業費(再掲)	県からの補助金を財源に、地域医療に関する研究を行う講座を設置(人件費及び研究費)	27,000

## 1-2. 医療人の育成（看護師関連）

平成27年度 年度計画

- (1)・看護学科学生への系統だったキャリアデザインプログラムを作成し、実施する。
  - ・看護師の教育指導者育成プログラムを作成する。
  - ・既卒学生の進路選択アンケート結果を分析し、活用する。
- (2)奨学金制度の制度設計について県担当課と協議する。

(千円)

事業名	内容	予算額
看護実践・キャリア支援センター運営事業	看護学科学生及び看護師の教育、研修及び研究の支援、キャリア支援等を行う看護実践・キャリア支援センターを運営	14,800
看護師確保事業	看護実践・キャリア支援センターとの連携を強化するとともに、情報発信の充実、学校訪問、説明会の開催、合同就職説明会やオープンキャンパスへの出展などを実施	8,200
新規採用看護師宿舍確保事業	新規採用者を対象に、敷地外に法人がワンルームマンションを借り上げ、看護師専用宿舍を確保	13,800

## 2. 看護師の地域貢献

平成27年度 年度計画

- (1)引き続き、認定看護師養成研修に派遣し、養成を推進する。  
特に「皮膚・排泄ケア」「認知症看護」「摂食嚥下(えんげ)障害看護」「感染症看護」「精神看護」分野の要請を目指す。
- (2)看護学科学生に対して、CNSや博士(看護学)等についてのニーズ調査を行い、結果に基づき実践する。
- (3)・研修計画に基づく研修を実施する。
  - ・本院の看護職員が地域全体の看護のレベルアップのための指導・助言を行う。
  - ・看護職員の「退院支援」「認知症看護」能力向上をめざした、新たな研修を企画する。
- (4)看護実践・キャリア支援センター運営委員会を中心として情報交換を行いながら、相互(病院看護部、大学看護学科、看護協会)の連携を深めていく。
- (5)・運営委員会等の設立により、スキルスラボの明確な運営体制を構築する。
  - ・学生と看護部等の臨床スタッフの利用を促進する。

(千円)

事業名	内容	予算額
看護師研修の実施	専門的な看護能力向上のため、認定看護管理者、認定看護師教育課程への派遣、先進病院への派遣などを実施	13,000
看護実践・キャリア支援センター運営事業(再掲)	看護学科学生及び看護師の教育、研修及び研究の支援、キャリア支援等を行う看護実践・キャリア支援センターを運営	14,800

### 3. 研究成果等の地域への還元

平成27年度 年度計画

- (1)・医大の将来像策定会議の結果を受けて、重点研究推進計画案を作成する。
  - ・研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドラインに対応した規程を施行する。
  - ・研究活動における不正行為への対応に関するガイドラインに対応した体制を整備する。

(後掲:Ⅲ-1)
- (2)医大の将来像策定会議の結果を受けて、研究推進戦略本部で今後の評価体制を整備する。
 

(後掲:Ⅲ-1)
- (3)・県民への啓発、教育・研究・診療を行うなど大和漢方医学薬学センターを運営する。
  - ・大学院専攻科目設置の準備を行う。
- (4)MBTの研究成果を生かして、国へ申請する「地域再生計画」に基づく諸事業に着手する。

(千円)

事業名・講座名	内容	予算額
(新)奈良医大MBTコンソーシアム事業の推進	MBT(医学を基礎とするまちづくり)構想実現のため、民間活力を導入する目的で結成する奈良医大MBTコンソーシアムに関連する事業を推進	
(新)ゲストハウス整備事業	MBT構想の一環として、橿原市今井町に本学のゲストハウスを整備	50,000
研究評価委員会運営事業	研究の適切な成果評価を行うため、外部有識者を含む評価委員会を運営	3,200
(新)物品等検収業務の充実	公的研究費の適正な管理を行うため、検収担当職員を配置し、研究費に係る物品等検収業務を充実	1,500
大和漢方医学薬学センター運営事業	漢方の教育・研究、人材育成及び地域医療従事者への研修・普及を行う大和漢方医学薬学センターを運営	10,800

### 4. 健康増進の県民アプローチの充実

平成27年度 年度計画

- (1)1. センターの広報活動を推進する。
  - ・5月末までにHPを開設する。
  - ・ニュースレターを年2回発行する。
- 2. 県市町村の保健事業にかかる調査・データ分析を行う。
  - ・すでに依頼のある王寺町、奈良市のデータ解析を進める。
  - ・その他、県市町村からのその都度の要請に応じて調査、データ解析を進める。
- 3. 得られた成果を、HPへの掲載、報告会・講演会・学術学会等を通じて広く公表する。
- (2)・公開講座「くらしと医学」を年2回開催する。平成26年度のアンケート結果を生かしたテーマを盛り込む。
  - ・「新しいコンセプト」の公開講座のあり方を引き続き検討し、実施方法を決定する。
- (3)・健康長寿大規模コホート研究について学内公募を実施する。
  - ・健康長寿大規模コホート研究の対象研究を決定する。

		(千円)
事業名	内容	予算額
県民健康増進支援センター運営事業	市町村や県が実施している健康増進事業への協力、予防医学や健康づくりの適切な情報・研究成果を提供することにより地域住民のセルフケアを支援する、県民健康増進支援センターを運営	18,800
(新)奈良県健康長寿大規模コホート助成事業	「奈良県健康長寿コホースタディ」に資するため、県内在住者、通学・通勤者、医療機関受診者を対象とした本学教員が行うコホート研究に対し助成	24,000
公開講座の開催	「くらしと医学」をテーマに、広く県民を対象に講座を開催 日程:平成27年9月、平成28年2月(予定) 場所:橿原文化会館、奈良県文化会館 (※県民健康増進支援センター事業の内数)	(1,000)

## 5. 断らない救急医療体制の整備

### 平成27年度 年度計画

- (1)・「断らない救急医療」実現のための体制整備のため、引き続き、院内で救急医療運営委員会や救急医療プロジェクト会議等において協議を重ねるとともに、関連病院や県との連携を図る。
- ・本院総合診療科・救命救急センターを中心とした土日ERを開始する。
  - ・中南和地域救急患者受入等意見交換会において、病病連携や後方連携に関する協議を引き続き行う。
  - ・関連病院との重症腹症(腹痛・吐下血)救急患者受入ネットワークや上部消化管内視鏡ネットワークを構築し、運用する。
  - ・医師等救急医療従事者の負担軽減対策を引き続き実施する。
- (2)・高度救急医療を担う医師、看護師等を確保する。
- ・専門医や認定看護師の養成を推進する。(スキルアップのための研修会等への参加)

		(千円)
事業名	内容	予算額
(新)土日24時間ER体制の実施	県が推進する「断らない救急医療体制」に寄与するため、平日20時まで及び土曜日9時から月曜日9時までの24時間のER体制を実施	
(新)ER体制整備支援委託事業	ER体制の更なる拡充のため、今後の体制整備のあり方などについてコンサルティング会社に委託	3,000
高度救命救急センターへの県からの支援	高度救命救急センターの運営に対し、中期目標達成促進補助金として県から支援	116,000
看護師研修の実施(再掲)	専門的な看護能力向上のため、認定看護管理者、認定看護師教育課程への派遣、先進病院への派遣などを実施	13,000

## 6. 周産期医療体制の強化

平成27年度 年度計画

- (1) リスクの高い妊婦に対する医療や高度な新生児医療等の周産期医療を担う本院総合周産期母子医療センターの円滑な運営を行う。  
MFICU 6床 同後方病床 12床 NICU 許可 21床(運用 18床) GCU 12床
- (2) 母体搬送コーディネーター事業を引き続き実施する。
- (3) 奈良県医師確保修学資金制度に基づき、産科医・小児科医の確保対策を継続実施  
・引き続き産科・小児科を特定診療科とする  
・産科、小児科に進む県費奨学生のキャリアパスの見直しの検討  
・周産期医療従事者等への研修会を開催

(千円)

事業名	内容	予算額
周産期医療体制強化事業	母体・新生児搬送コーディネーターの運営、新生児蘇生・救急講習会の実施など	12,100
総合周産期母子医療センターへの県からの支援	総合周産期母子医療センターの運営に対し、中期目標達成促進補助金として県から支援	96,525

## 7. 他の医療機関との連携強化

平成27年度 年度計画

- (1) 連携登録医制度の充実、予約診療等の拡充により逆紹介等の促進を図る。
- (2) 退院調整の効果的運用と啓発活動の推進により地域医療連携パスの運用件数の増加を図る。
- (3) ジェネラルマネージャーの配置、地域と連携した緊急入院体制の整備及び緊急緩和ケア病床の設置、看護カウンセリング(がん看護外来)の開始等の都道府県がん診療連携拠点病院に求められる機能を整備し中核的な緩和ケアセンターとしての役割を果たす。
- (4) 基幹型認知症疾患医療センターを引き続き運営する。
- (5) 地域の医療従事者等を対象にした研修会の開催や情報発信を拡充する。  
① 病院独自で行う医療情報の発信  
② 地域医療連携を推進する「地域医療連携懇話会」及び「なら地域医療連携実務者協議会」の各々年1回以上の開催

		(千円)
事業名	内容	予算額
認知症疾患医療センター運営事業	地域における認知証疾患の保険医療水準の向上ため、医療機関等との連携、鑑別診断、急性期治療、専門医療相談及び医療・介護従事者への研修等を実施	1,300
糖尿病学講座事業費	県からの交付金を財源に、糖尿病医療に関わる人材の育成および糖尿病診療水準の向上を図ることを目的とした講座の設置・運営	30,000
放射線治療専門従事者育成事業	県からの補助金を財源に、放射線治療専門従事者の育成や、県内の放射線治療の水準向上、医療施設間の連携に係る調査・研究を実施	38,300
地域医療連携事業	初診紹介患者予約診療、転退院調整、地域医療連携パスの実施、地域医療連携懇話会の開催、地域医療連携支援システムの運用など	3,700
都道府県がん診療連携拠点病院関連経費	がん診療における県の中心的な役割を果たすため、がん診療連携協議会、がん相談、まほろばPEACE緩和ケア研修会などの諸事業を実施	6,300
院内がん登録事業	平成26年度より施行された「がん登録等の推進に関する法律」に基づく院内がん登録業務を円滑に運用するための、がん登録予後調査システム保守や調査等経費	1,500
がん専門医臨床研修事業関連経費	若手医師をがん専門医師として育成するための研修を実施	1,000

## 8. 県内医療人への助言・指導

### 平成27年度 年度計画

- (1) 地域の医療従事者等を対象にした研修会の開催や情報発信を拡充する。
- ① 病院独自で行う医療情報の発信
  - ② 地域医療連携を推進する「地域医療連携懇話会」及び「なら地域医療連携実務者協議会」の各々年1回以上の開催(再掲 I-7)
- (2) 運営委員会等の設立により、スキルラボの明確な運営体制を構築する。
- ・学生と看護部等の臨床スタッフの利用を促進するとともに、卒後臨床研修医の利用方法を模索し、実践する。

		(千円)
事業名	内容	予算額
地域医療連携事業(再掲)	初診紹介患者予約診療、転退院調整、地域医療連携パスの実施、地域医療連携懇話会の開催、地域医療連携支援システムの運用など	3,700

# Ⅱ 教 育



# 教育予算の概要

## 第2期中期計画 II 教育

### 1 リベラルアーツ教育の実践 医の心をもった医療人の育成 医療経営に関する教育の確保

○カリキュラムの見直し・再構築を行い、医療人にふさわしい教養や倫理観を培うリベラルアーツ教育、および国際感覚、実践的英語能力等の習得を目的とした幅広い教育を強化する。

### 2 教育内容の評価

○教員の教育力向上のためのFD(Faculty Development)活動の活性化および教員と学生の双方向性の授業評価システムを構築することにより、講義・実習・研修内容の充実を図る。

### 3 老朽・狭隘施設への対策

○新キャンパスへの教育・研究部門の移転計画を積極的に推進する。

## 1. リベラルアーツ教育の実践

### 1. リベラルアーツ教育の充実

平成27年度 年度計画

- (1)「良き医療人育成のためのプログラム」を策定する。  
 (2)医師又は看護師になる自覚やカリキュラム・授業への満足度等に関する調査を全学生に実施する。

事業名	内容	予算額 (千円)
(新)「奈良県立医科大学教育改革2015」の実施	「医大の将来像策定会議」での議論を踏まえ、教育改革を実施 ・医学科・看護学科の一般教育組織を「教養教育部門」として統合(再掲) ・看護学科に在宅看護学を新設 ・「良き医療人育成のためのプログラム」を策定 ・臨床英語教育の充実 ・「奈良学」の実施 など	
リベラルアーツ充実事業(再掲)	リベラルアーツ教育の充実を推進するため、カリキュラム編成業務体制を強化するとともに、臨床英語教育や「奈良学」を実施、教養図書を拡充	2,500

## 2. 学生支援体制の充実

(千円)

事業名	内容	予算額
学生アメニティ向上事業	学生生活の向上を図るため、老朽化した施設・設備の改修、課外活動への支援などを実施 (27) 体育館のトイレ改修	7,100
(新) 学生研究活動支援事業	学生がカリキュラム外で自主的に行う研究活動を支援(受入先教室、学生へ助成)	1,000
教務事務システムの運用	事務の迅速化や学生サービスを向上させるため平成24年度に導入した教務事務システムを運用	2,700
授業料減免事業	経済的に困窮した学生を支援するため、授業料の減免事業を実施	15,900
学生カウンセリング事業	専門のカウンセラーにより、学業、生活、将来等に対する学生の悩み、相談等に対応	1,300

## 3. 医学科の教育にかかる経費

(千円)

事業名	内容	予算額
医学科・医学研究科教育関係諸費	医学科・医学研究科の教育及び運営に必要な経費を計上	11,700
医学科学生実験実習費	医学科の実験・実習等の教育に必要な経費を計上	28,500
大学院医学研究科教育充実関係諸費	大学院医学研究科の教育に必要な経費を計上	11,100
研究医養成コースの運営	基礎医学・社会医学研究者の養成を図るために設置した研究医養成コースの運営にかかる経費 (対象者に奨学金を貸与)	26,000
医学科教育関係講師謝礼	医学科の非常勤講師の報酬、交通費	22,000
共用試験実施事業	共用試験(OSCE及びCBT)の実施に要する経費	3,500
解剖関係諸費	系統解剖の実施に必要な経費	6,000

#### 4. 看護学科の教育にかかる経費

		(千円)
事業名	内容	予算額
看護学科・看護学研究科教育関係諸費	看護学科・看護学研究科の教育及び運営に必要な経費を計上	16,500
看護学科学生実験実習費	看護学科の実験・実習等の教育に必要な経費を計上	5,600
大学院看護学研究科教育充実関係事業	大学院看護学研究科の教育に必要な経費を計上	1,900
看護学科教育関係講師謝礼	看護学科の非常勤講師の報酬、交通費	4,700

#### 5. 学生の確保にかかる経費

		(千円)
事業名	内容	予算額
アドミッション(入試)広報事業	オープンキャンパスの開催、学生による奈良医大PR隊や教職員によるアドミッション(入試)広報、高大連携の実施に必要な経費	1,000
入試関係費	医学科・看護学科の入学試験実施に必要な経費	19,600
大学入試センター試験関係費	大学入試センター試験の実施に必要な経費	4,000

#### 6. 附属図書館の運営及びその他教育の運営に関する経費

		(千円)
事業名	内容	予算額
附属図書館運営事業	電子ジャーナル、図書の購入など附属図書館の運営に要する経費(うち科研費間接費充当額 15,500千円)	77,300
附属図書館の充実	附属図書館の機能充実を図るため、3階自習室机・椅子の更新、トイレ改修を実施	7,400
大学連携の推進	協定を締結している早稲田大学や同志社女子大学との連携講座等の実施に必要な経費	2,900
教育開発センター運営費	教育開発センターの運営に必要な経費	3,200

## 2. 教育内容の評価

### 平成27年度 年度計画

- (1)・医学科および看護学科において、授業評価を実施し、評価結果を教員に通知する。
  - ・教員に評価結果を基にした授業改善調査を実施する。
  - ・授業評価の集計結果を分析し公表する。
  - ・評価項目の検討を行う。
- (2)FD活動を活用し、優秀者を選定し表彰する。
- (3)・教員を対象とした研修会を実施し、研修結果を分析・評価する。
  - ・新任教員の受講義務化を推進する。

(千円)

事業名	内容	予算額
(新)医学教育認証制度受審事業	国が実施する「国際基準に対応した医学教育認証制度確立」事業の一環として実施される「医学教育分野別評価試行」の受審のための経費	2,000
FD関係諸費	教員の授業評価や教育フォーラム、コンソーシアム(単位互換)、学生アンケートの実施等に必要な経費	1,500

## 3. 老朽・狭隘施設への対策

### キャンパス移転計画の推進

### 平成27年度 年度計画

- (1)・新旧キャンパス整備の前提となる「本学の目指すべき将来像」について、法人構成員との情報共有・意見交換により合意形成を図りながら、県と医大が合同で設置・運営する「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、教育・研究・診療等の各分野ごとに検討を進め、策定を行う。
- ・引き続き、将来像の実現に必要な施設整備について、「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、その基本的な考え方を「施設整備基本構想」として取りまとめるべく、検討を進める。
- ・具体的な整備計画となる「施設整備プラン」については、「施設整備基本構想」と併行して、素案の検討を進める。

(千円)

事業名	内容	予算額
基本構想関連業務支援委託(再掲)	医大の将来像・施設整備基本構想(ソフト面)の策定支援を委託	20,000
基本構想関連その他業務委託(再掲)	医大の将来像・施設整備基本構想に関連した各種業務委託	10,000
施設整備プラン策定支援委託	施設整備基本構想(ハード面)・施設整備プランの策定支援を委託	20,000
大学施設の改修	一般教育棟、基礎研究棟、総合研究棟の空調設備、電気設備などの大学施設の改修経費	50,000

# Ⅲ 研 究



# 研究予算の概要

## 第2期中期計画 III 研究

### 1 研究の適切な成果評価

○研究に関する外部有識者を含む自己評価委員会を設置・運営するとともに、教室主任に研究目標の明確化を求め、達成状況を自己評価させ、極めて高い研究業績をあげた者に対する顕彰制度を新設する。

### 2 有能な研究者の獲得

○研究医養成コースの充実に加え、学内共同研究プロジェクトや若手研究者への支援制度の充実等により、基礎医学・社会医学・臨床医学の研究を推進する高度な知識・能力と意欲を持つ研究人材を育成し、大学全体の研究競争力を高める。

### 3 健康・予防医療等研究範囲の拡大

○OMBT構想や奈良県健康長寿コホートスタディ等について計画・推進し、住民の健康増進に貢献するリビングサイエンスを推進する。

### 4 研究環境の改善

○新キャンパスへの教育・研究部門の移転計画を積極的に推進する。(再掲:Ⅱ-3)

## 1. 研究の適切な成果評価

平成27年度 年度計画

- (1) 医大の将来像策定会議の結果を受けて、重点研究推進計画案を作成する。
  - ・研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドラインに対応した規程を施行する。
  - ・研究活動における不正行為への対応に関するガイドラインに対応した体制を整備する。
- (2) 医大の将来像策定会議の結果を受けて、研究推進戦略本部で今後の評価体制を整備する。

		(千円)
事業名・講座名	内容	予算額
研究評価委員会運営事業(再掲)	研究の適切な成果評価を行うため、外部有識者を含む評価委員会を運営	3,200

## 2. 有能な研究者の獲得

平成27年度 年度計画

- (1) 医大の将来像策定会議の結果を受けて、重点研究推進計画案を作成する。
  - ・研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドラインに対応した規程を施行する。
  - ・研究活動における不正行為への対応に関するガイドラインに対応した体制を整備する。

(再掲: Ⅲ-1)
- (2) 学生の自主的な研究活動に対する支援制度を構築する。
  - ・学生が学会、勉強会等へ参加する際の交通費を助成
  - ・学生が自主的かつ継続的に各教室に出入りして研究活動を行った場合、当該教室に学生研究活動費を交付
- (3) 研究推進戦略本部において、特別共同研究助成事業や若手研究者研究助成事業の募集、対象者決定、助成など引き続き実施する。
- (4) 女性研究者支援センターを中心に女性研究者の研究継続支援など女性研究者への支援を継続する。
  - ・女性研究者支援に関する広報・啓発活動を実施する。
  - ・女性研究者表彰制度を継続実施する。
  - ・女性研究者支援に関する国の支援事業に申請する。

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 物品等検収業務の充実(再掲)	公的研究費の適正な管理を行うため、検収担当職員を配置し、研究費に係る物品等検収業務を充実	1,500
(新) 学生研究活動支援事業(再掲)	学生がカリキュラム外で自主的に行う研究活動を支援(受入先教室、学生へ助成)	1,000
研究医養成コースの運営(再掲)	基礎医学・社会医学研究者の養成を図るために設置した研究医養成コースの運営にかかる経費(対象者に奨学金を貸与)	26,000
特別研究活動助成事業	大学全体の研究活動の一層の活性化を図るため、全学的・横断的に取り組む共同研究を支援 予算内で原則2課題、2年間助成	25,000
若手研究者研究活動助成事業	優れた研究を行っている若手研究者に対し、更なる研究の発展を支援 予算内で原則10課題、1年間助成	5,000
若手研究者への支援	若手の国際学会発表の機会を増大させ、国際的に活躍できる人材の育成のため、渡航費の一部を支援 原則8人助成	800
女性研究者研究活動支援事業	女性研究者が研究を継続・発展させ、キャリアアップを図ることができる環境整備を実施(女性研究者支援センターの運営費)	28,900
女性研究者への支援	優れた研究を行っている女性研究者の表彰を行い、研究意欲を高め、将来を担う優秀な女性研究者を育成 (女性研究者研究活動支援事業の内数)	(350)
特別講演事業	教室の枠を超えた全学的な範疇にわたる内容について、ハイレベルな学外からの情報知識を得ることにより、本学の学術研究のレベルアップを図る	1,100

## 3. 健康・予防医療等研究範囲の拡大

### 1. 研究範囲の拡大

平成27年度 年度計画

(1) MBTの研究成果を生かして、国へ申請する「地域再生計画」に基づく諸事業に着手する。  
(再掲: I-3)

(2) ・健康長寿大規模コホート研究について学内公募を実施する。  
・健康長寿大規模コホート研究の対象研究を決定する。(再掲: I-4)

事業名	内容	(千円) 予算額
(新) 奈良医大MBTコンソーシアム事業の推進(再掲)	MBT(医学を基礎とするまちづくり) 構想実現のため、民間活力を導入する目的で結成する奈良医大MBTコンソーシアムに関連する事業を推進	
(新) ゲストハウス整備事業(再掲)	MBT構想の一環として、橿原市今井町に本学のゲストハウスを整備	50,000
県民健康増進支援センター運営事業(再掲)	市町村や県が実施している健康増進事業への協力、予防医学や健康づくりの適切な情報・研究成果を提供することにより地域住民のセルフケアを支援する、県民健康増進支援センターを運営	18,800
(新) 奈良県健康長寿大規模コホート助成事業(再掲)	「奈良県健康長寿コホートスタディ」に資するため、県内在住者、通学・通勤者、医療機関受診者を対象とした本学教員が行うコホート研究に対し助成	24,000

### 2. 産学官連携の推進

事業名	内容	(千円) 予算額
産学官連携活動事業	産学官連携推進センター特任教授の配置、シーズ出展、シーズ・ニーズの情報発信、シンポジウム開催など産学官連携に必要な経費	23,900
知的財産管理事業	本学の研究成果として生み出された知的財産の権利を確保し、産学官連携に有効活用するための管理経費	10,800
大和漢方医学薬学センター運営事業(再掲)	漢方の教育・研究、人材育成及び地域医療従事者への研修・普及を行う大和漢方医学薬学センターを運営	10,800

### 3. 研究に必要な資金の確保

事業名	内容	(千円) 予算額
科研費申請支援事業	応募に関する講習会の開催や申請書の作成指導など応募申請に対する支援を実施	700
科学研究費補助事業	科学研究費間接費のうち、研究者使用分	23,300
医学科・看護学科・教養教育部門教員研究関係諸費	講座・領域研究費及び学会人当旅費(繰越分 57,900千円を含む)	225,400

#### 4. 寄附講座の設置

(千円)

講座名	内容	予算額
血友病治療・病態解析学講座	寄附者 : バクスター株式会社 設置目的: 血友病治療及びその他の出血性疾患の治療に関する研究 設置期間: 平成27年度～29年度(3年間) 寄附総額: 3,000万円	10,000
血栓制御医学講座	寄附者 : バイエル薬品株式会社 設置目的: 止血及び病的血栓形成のメカニズム解明、その制御(治療と予防) 設置期間: 平成21年度～28年度(8年間)(当初6年間から2年間延長) 寄附総額: 1億8,750万円	
血圧制御学講座	寄附者 : MSD株式会社 設置目的: 血圧における食塩と高血圧発症の影響を検討 設置期間: 平成22年度～27年度(6年間)(当初3年間から3年間延長) 寄附総額: 1億2,000万円	20,000
人工関節・骨軟骨再生医学講座	寄附者 : 京セラメディカル株式会社 設置目的: 人工関節及び人工骨頭材料の臨床研究、新しい人工関節材料と細胞治療を用いた再生医学との融合による有用な方法の開発 設置期間: 平成23年度～28年度(6年間)(当初3年間から3年間延長) 寄附総額: 1億5,000万円	25,000
スポーツ医学講座	寄附者 : 学校法人栗岡学園 設置目的: スポーツ障害における病態の解明、有用な治療法の開発 設置期間: 平成25年度～30年度(6年間) 寄附総額: 1億2,000万円	20,000

#### 5. 国内外との連携

##### 国際交流協定大学

大学名	締結年月
チェンマイ大学(タイ)	平成8年8月
福建医科大学(中国)	平成16年12月
オックスフォード大学(イギリス)	平成20年4月
ルール大学(ドイツ)	平成22年4月

##### 国内協定大学

大学名	締結年月
同志社女子大学	平成19年6月
早稲田大学	平成20年12月
奈良先端科学技術大学院大学	平成21年3月
関西公立医科大学・医学部連合	平成26年9月

(千円)

事業名	内容	予算額
国際交流事業	交流協定を締結した海外の大学との研究者及び学生の派遣、受入に必要な経費	2,200
ゲストハウス運営事業	なかよし保育園増築に伴い取り壊されたゲストハウスの代替施設の借上費	4,600
(新)ゲストハウス整備事業(再掲)	MBT構想の一環として、橿原市今井町に本学のゲストハウスを整備	50,000
大学連携の推進(再掲)	本学の協定校である早稲田大学及び同志社女子大学との連携事業に要する経費	2,900
協定大学交流事業	学術交流に関する包括協定を締結している国内の大学との共同シンポジウム開催、院内コンサート招へいなどの交流を実施	300

## 4. 研究環境の改善

### 1. キャンパス移転計画の推進

平成27年度 年度計画

- (1)・新旧キャンパス整備の前提となる「本学の目指すべき将来像」について、法人構成員との情報共有・意見交換により合意形成を図りながら、県と医大が合同で設置・運営する「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、教育・研究・診療等の各分野ごとに検討を進め、策定を行う。
- ・引き続き、将来像の実現に必要な施設整備について、「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、その基本的な考え方を「施設整備基本構想」として取りまとめるべく、検討を進める。
  - ・具体的な整備計画となる「施設整備プラン」については、「施設整備基本構想」と併行して、素案の検討を進める。(再掲Ⅱ-3)

(千円)

事業名	内容	予算額
基本構想関連業務支援委託(再掲)	医大の将来像・施設整備基本構想(ソフト面)の策定支援を委託	20,000
基本構想関連その他業務委託(再掲)	医大の将来像・施設整備基本構想に関連した各種業務委託	10,000
施設整備プラン策定支援委託(再掲)	施設整備基本構想(ハード面)・施設整備プランの策定支援を委託	20,000

### 2. その他研究環境の改善

(千円)

事業名	内容	予算額
総合研究施設運営関係費	総合研究棟の管理・運営にかかる委託費及び消耗品費や修繕費、リース料など総合研究施設運営に必要な経費	100,200
(新)匿名化システム構築事業	ヒトゲノム・遺伝子解析研究などの試料の匿名化システム構築事業	1,300
大型備品の整備	総合研究棟に設置されている共用研究備品が老朽化しているため、整備計画に基づき、年次的に更新	13,000
大学施設の改修(再掲)	一般教育棟、基礎研究棟、総合研究棟の空調設備、電気設備などの大学施設の改修経費	50,000

# IV 診 療



# 診療予算の概要

## 第2期中期計画 IV 診療

### 1 医師・看護師等の離職防止と人材確保

○医師・看護師等の適正な増員と配置及び短時間正規労働制度の導入等によるワークライフバランスの改善を図るとともに学内保育園の充実と利用の促進により、女性医師・看護師等の就職促進と離職防止を図る。

### 2 がん拠点病院としての機能の充実

○都道府県がん診療連携拠点病院にふさわしい医療体制を構築するとともに、高度先進的な施設・機器を整備することにより、充実したがん治療を実施し、生存率の向上を目指す。

### 3 治療成績の一層の向上

○(仮称)診療内容向上委員会を設置・運営するとともに、医大版臨床指標(Clinical Indicator)を定めて、診療の質と量に対する現状分析を行い、治療成績の一層の向上を図る。

### 4 患者満足の一層の向上

○医療人のホスピタリティマインドの醸成及び患者の意見、要望を反映させた病院運営を行い、患者満足の一層の向上を図る。

### 5 老朽・狭隘施設への対策

○附属病院のさらなる充実を目指し、(仮称)中央手術棟の工程通りの完成と円滑な運営を推進するとともに、新外来棟への早期改築を立案し、早期着工への道筋を示す。また、老朽かつ狭隘な診療関連施設(臨床医学研究棟・臨床研修センター等)の早期改築を行う。

## 附属病院の概要

(平成27年4月1日現在)

項目	内容
病床数	978床(一般病床 861床、感染病床 9床、精神病床 108床)
診療部	25診療科
中央部門	9部、17センター、3室
その他の組織	薬剤部、看護部、栄養管理部、病院事務部、臨床研修センター、医療技術センター、医療安全推進室、感染管理室
病院機能	特定機能病院、災害拠点病院(基幹災害医療センター)、高度救命救急センター、第一種・第二種感染症指定医療機関、基幹型臨床研修病院、特定承認保険医療機関(高度先進医療)、エイズ中核拠点病院、精神科救急医療施設、都道府県がん診療連携拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センター、難病の患者に対する医療等に関する法律第14条第1項の規定による指定医療機関、児童福祉法第19条の9第1項の規定による指定小児慢性特定疾病医療機関

# 1. 医師・看護師等の離職防止と人材確保

## 平成27年度 年度計画

- (1) ワークライフバランスの推進について、ワークライフバランス検討委員会において継続的に検討を行う。
- (2) ・平成25、26年度に実施したアンケート調査結果を集計、分析する。  
・職員のニーズを把握し、看護師の離職防止等具体的な諸施策を作成する。

事業名	内容	予算額 (千円)
保育園の運営	職員の保育ニーズに対応するため、定員増(60名→90名)、運営委託、病児保育委託を実施(うち保育料等収入 43,100千円)	89,500
保育園の整備	平成26年度に増築した保育園の一体運用のための整備、定員増に対応するための厨房設備の整備など	8,600
(新)ワークライフバランス充実強化事業	ワークライフバランス充実のための職員の意識調査、短時間勤務制度拡充による部分休業取得職員の代替職員の確保経費	3,000
臨床研修医関連経費	臨床研修プログラムの充実、指導医向け講習会の開催、臨床研修医の確保のための情報提供など、臨床研修関連経費	10,000
臨床研修に係る負担金	協力型病院への臨床研修費国庫補助金の配分及び他院研修医の当院への受入にかかる給与等負担金	14,000
女性研究者研究活動支援事業(再掲)	女性研究者が研究を継続・発展させ、キャリアアップを図ることができる環境整備を実施(女性研究者支援センターの運営費)	28,900
看護実践・キャリア支援センター運営事業(再掲)	看護学科学生及び看護師の教育、研修及び研究の支援、キャリア支援等を行う看護実践・キャリア支援センターを運営	14,800
看護師確保事業(再掲)	看護実践・キャリア支援センターとの連携を強化するとともに、情報発信の充実、学校訪問、説明会の開催、合同就職説明会やオープンキャンパスへの出展などを実施	8,200
新規採用看護師宿舎確保事業(再掲)	新規採用者を対象に、敷地外に法人がワンルームマンションを借り上げ、看護師専用宿舎を確保	13,800
看護師研修の実施(再掲)	専門的な看護能力向上のため、認定看護管理者、認定看護師教育課程への派遣、先進病院への派遣などを実施	13,000
医療技術職研修の実施	医療技術職の知識向上のため、各種研修や学会などへ派遣	4,700
(新)病院TQM推進事業	本院のTQMを推進するため、職員が自ら提案するTQM大会を開催し、成果を病院運営に反映	1,000
(新)eラーニング運営事業	医療安全や感染管理に関する研修受講率向上のため、eラーニングを導入	5,000

## 2. がん拠点病院としての機能の充実

平成27年度 年度計画

- (1)・がん診療に関する施設・機器を整備し充実を図る。
  - リニアックの増設、SPECTCTへの更新、PETCTの新設
  - ・放射線療法医師、化学療法医師等のがん専門医の育成・確保に努める。
    - がん薬物療法専門医の増加
    - 放射線治療専門医をさらに増員
  - ・がん専門医臨床研修事業等、がん医療に携わる人材の養成のための研修を実施する。
    - 都道府県がん診療連携拠点病院研修会の開催
  - ・がん診療連携拠点病院間の役割分担と連携を推進し、がん診療提供環境の整備、充実を図る。
  - ・がん相談専門員研修を受講させるなど、相談員のがん相談スキルを向上させる。
  
- (2)ジェネラルマネージャーの配置、地域と連携した緊急入院体制の整備及び緊急緩和ケア病床の設置、看護カウンセリング(がん看護外来)の開始等の都道府県がん診療連携拠点病院に求められる機能を整備し中核的な緩和ケアセンターとしての役割を果たす。(再掲: I - 7)
  
- (3)・多職種連携によるチーム医療体制の充実に向けた取組の実施
  - ・がん化学療法医療チーム研修の実施
  - ・緩和ケアチーム研修の実施
  - ・がんセンターボードで検討する臓器を増加
  
- (4)・院内がん登録実施・統計の公表
  - ・国立がんセンター実施の予後調査への協力
  - ・地域がん登録への協力

(千円)

事業名	内容	予算額
放射線治療専門従事者育成事業 (再掲)	県からの補助金を財源に、放射線治療専門従事者の育成や、県内の放射線治療の水準向上、医療施設間の連携に係る調査・研究を実施	38,300
都道府県がん診療連携拠点病院 関連経費(再掲)	がん診療における県の中心的な役割を果たすため、がん診療連携協議会、がん相談、まほろばPEACE緩和ケア研修会などの諸事業を実施	6,300
院内がん登録事業(再掲)	平成26年度より施行された「がん登録等の推進に関する法律」に基づく院内がん登録業務を円滑に運用するための、がん登録予後調査システム保守や調査等経費	1,500
がん専門医臨床研修事業関連経 費(再掲)	若手医師をがん専門医師として育成するための研修を実施	1,000
(新)アロマセラピー導入事業	がん患者の精神的な苦痛を和らげるために、緩和ケアセンターにおいてアロマセラピーを実施するための委託経費	800

### 3. 治療成績の一層の向上

#### 1. 治療成績の一層の向上に向けて

平成27年度 年度計画

(1)医療の質評価委員会において臨床指標の更新、新たな指標の設定を行い、公表する。

		(千円)
事業名	内容	予算額
(新) 病院機能評価受審事業	平成28年度に受審予定の病院機能評価受審申込経費	700

#### 2. 高度で先進的な医療の提供及び提供体制の充実

		(千円)
事業名	内容	予算額
E病棟整備事業(建設)	総事業費:約100億円(予定) 工 期:平成22年度～平成27年度(予定) 規 模:地下1階 地上7階	5,375,000
E病棟整備事業(医療機器)	E病棟に導入する医療機器の購入経費 リニアック、PET-CT、ダビンチ、手術室機器など	3,350,000
医療機器整備事業	県からの長期借入金等を財源として、高度で先進的な機器 など本院の役割にふさわしい医療機器の充実	927,500
(新)MRIの整備	MRIを1台増設するための施設改修経費(機器は医療機 器整備事業で購入)	206,000
医療用機器等保守・修繕費	法令等で保守点検が規定されている機器や患者の生命に 関わる機器などの保守点検委託費及び修繕費	451,100
治験センターの運営	臨床治験を積極的に推進するため、治験及び医薬品等製 造販売後調査を管理する治験センターの運営経費	52,900

#### 3. 病院運営に必要な経費

		(千円)
事業名	内容	予算額
医薬品費	診療に必要な医薬品の購入	10,404,000
診療材料費	診療に必要な診療材料の購入	3,844,000
(新) 食事提供業務委託	患者満足度向上などのため、食材調達を含めた食事提供 業務の全面委託を実施	435,700
医事委託費	外来部門の受付や料金計算、診療報酬請求業務、患者案 内誘導、書類搬送などの医事業務の委託	383,000
病院関連委託費	貸与被服やタオルの洗濯、手術室の清掃、SPD業務、ベッ ドメーカーなど、病院業務に関連する各種委託	318,400
臨床検査委託費	臨床検査のうち、当院で分析できないもの、件数が少なくコ スト高になるものなどについて外部委託	228,000

		(千円)
事業名	内容	予算額
在宅用機器賃借料	在宅酸素、人工呼吸器、持続陽圧呼吸療法など、在宅医療用機器の借り上げ料	166,500
病院関連借上費	医療機器・検査機器のリース料や病棟カーテンなど	51,800
総合医療情報システム運営事業 (電子カルテシステム)	電子カルテシステムの維持・管理に係る運用保守委託	242,000
病院無線LANの設定変更	電子カルテのネットワークを利用し、病院内でインターネットの利用ができるようにするための無線LANの設定変更経費	2,000
病院ボランティアの活動費	本院で活動する病院ボランティアの活動経費	1,600
その他病院運営経費	職員被服費、通信運搬費、日用品・事務用消耗品の購入経費など	99,000
光熱水費・燃料費	病院内の冷暖房や医療用機器の運転などに必要な電気、ガス、水道などの光熱水費・燃料費	621,500
庁舎管理委託費	病院内の清掃や医療機器以外の設備の保守点検、警備など病院庁舎の管理にかかる各種委託	388,300
その他病院管理費	病院施設や設備の修繕費や修繕・管理消耗品の購入経費及び駐車場用地の借地代など	95,000

## 4. 患者満足の一層の向上

### 1. 患者満足の向上に向けて

#### 平成27年度 年度計画

- (1) 患者意見を反映するため、引き続きホスピタリティマインド向上委員会を運営する。
- (2) 前年度のホスピタリティマインド醸成研修の実施状況や研修参加者の意見を総合的に勘案し、全ての病院職員がより参加しやすく、より効果的で魅力のある研修が実施できるよう研修内容を検証のうえ実施する。
- (3) 案内サインの整備や老朽箇所の改修を行う。また、案内業務の充実と質の向上を図る。

		(千円)
事業名	内容	予算額
患者満足向上事業	ホスピタリティマインド向上委員会の運営及びホスピタリティマインド醸成研修の実施	3,400
E病棟整備関連アメニティ整備事業	来院者の快適性を高めるため、病院施設の一部を整備 (27) BC棟廊下、中庭、C棟南庭改修など	54,000
患者アメニティ向上事業	患者アメニティの向上を図るための施設改修 (27) 外来診察エリア廊下改修	52,500
院内緑化推進事業	院内緑化のための観賞植物の賃借経費 (企業等からの協賛金を財源)	4,500
フロアマネジメントの充実	患者案内ブースの設置、会計フロントへの案内員配置による、フロアマネジメントの充実(医事委託費の内数)	
患者満足度調査業務委託	患者に対し当院の評価をアンケート調査し、患者ニーズを把握	500

## 2. 医療の安全確保

(千円)

事業名	内容	予算額
DMAT機能強化事業	DMAT(災害派遣医療チーム)の装備の充実経費	1,500
基幹災害拠点病院体制整備事業	基幹災害拠点病院としての体制整備のためのマニュアルの見直し、災害・訓練時に必要な物品の購入など	3,500
院内感染防止対策事業	職員への4種抗体価検査、インフルエンザワクチン接種の実施、院内感染防止セミナーの開催	10,700
医師賠償責任保険	医療事故の発生リスクに対応し、迅速な補償と医療従事者の負担軽減のため医師賠償責任保険に引き続き加入	25,400
産科医療補償制度負担金	脳性麻痺等の出産に対する迅速な補償と医療従事者のリスクを軽減するため、産科医療補償制度へ引き続き加入	30,000
医療安全推進費	医療安全の確保のため、医療安全に関する教育・研修等の実施	1,000
医療事故調査委員会の運営	医療事故等の調査を行う際に、公平性・中立性を確保するために設置された医療事故調査委員会の運営	500

## 5. 老朽・狭隘施設への対策

### 平成27年度 年度計画

- (1) E病棟の平成27年度内の竣工を目指し、Ⅱ期工事及び関連の調整を推進する。
- (2) ・新旧キャンパス整備の前提となる「本学の目指すべき将来像」について、法人構成員との情報共有・意見交換により合意形成を図りながら、県と医大が合同で設置・運営する「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、教育・研究・診療等の各分野ごとに検討を進め、策定を行う。  
 ・引き続き、将来像の実現に必要な施設整備について、「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、その基本的な考え方を「施設整備基本構想」として取りまとめるべく、検討を進める。  
 ・具体的な整備計画となる「施設整備プラン」については、「施設整備基本構想」と併行して、素案の検討を進める。(再掲Ⅱ-3)

(千円)

事業名・箇所名	内容	予算額
E病棟整備事業(再掲)	工期:平成22年度～平成27年度(予定) 建設工事 5,375,000千円 医療機器整備 3,350,000千円	8,725,000
基本構想関連業務支援委託(再掲)	医大の将来像・施設整備基本構想(ソフト面)の策定支援を委託	20,000
基本構想関連その他業務委託(再掲)	医大の将来像・施設整備基本構想に関連した各種業務委託	10,000
施設整備プラン策定支援委託(再掲)	施設整備基本構想(ハード面)・施設整備プランの策定支援を委託	20,000
総合診療科改修工事	総合診療科の移転改修(平成26年度からの継続)	50,000
その他病院施設改修	液体酸素貯槽増設、中央点滴室新設など病院の電気・空調設備等改修	67,500

# V まちづくり



# まちづくり予算の概要

## 第2期中期計画 V まちづくり

### 1 教育・研究部門の円滑な移転と新キャンパス整備

○平成33年中の新キャンパスオープンを目指し、教育・研究機能の充実と地域に貢献できる新たな機能を備えた整備計画を進める。

### 2 地域に関われたキャンパスづくり

○新キャンパスの構想計画においては、交流広場や緑地等の地域との交流を図る施設、図書館・食堂・コンビニ・グラウンド等を設置し、県民への開放に努める。

### 3 教育・研究部門移転後の跡地活用

○現キャンパス跡地においては、憩いの広場、診療関連施設、新外来棟等の整備計画を推進するとともに、医大が進めるMBT構想を踏まえ、県と市のまちづくりのグランドデザインに沿った「医療、介護、福祉が連携した健康まちづくり」の整備計画に参画する。

### 4 移転を契機とした研究分野での地域貢献

○新キャンパスにおいては、(仮称)大和漢方医学薬学センターの設置等、一定規模の産学官連携ゾーンを整備し、県や市と連携しながら、医農商工連携の一層の推進に寄与する。また、他大学との共同大学院構想を策定し、研究部門の強化を図る。

### 5 健康づくり・予防医療等への貢献

○OMB T構想や奈良県健康長寿コホートスタディ等について計画・推進し、住民の健康増進に貢献するリビングサイエンスを推進する。(再掲:Ⅲ-3)

# 1. 教育・研究部門の円滑な移転と新キャンパス整備

平成27年度 年度計画

- (1)・新旧キャンパス整備の前提となる「本学の目指すべき将来像」について、法人構成員との情報共有・意見交換により合意形成を図りながら、県と医大が合同で設置・運営する「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、教育・研究・診療等の各分野ごとに検討を進め、策定を行う。
- ・引き続き、将来像の実現に必要な施設整備について、「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、その基本的な考え方を「施設整備基本構想」として取りまとめるべく、検討を進める。
  - ・具体的な整備計画となる「施設整備プラン」については、「施設整備基本構想」と併行して、素案の検討を進める。(再掲Ⅱ-3)

事業名	内容	予算額 (千円)
基本構想関連業務支援委託(再掲)	医大の将来像・施設整備基本構想(ソフト面)の策定支援を委託	20,000
基本構想関連その他業務委託(再掲)	医大の将来像・施設整備基本構想に関連した各種業務委託	10,000
(新) 将来像広報事業(再掲)	医大の将来像策定会議で検討中の医大の将来像について広く周知を図り、その実現に向けた取組を着実に進める	3,900
施設整備プラン策定支援委託(再掲)	施設整備基本構想(ハード面)・施設整備プランの策定支援を委託	20,000
(新) 医大周辺まちづくりプロジェクト事業	移転予定地の土壌調査、文化財試掘、農業開発研究センターの解体設計、境界確定・測量業務、現敷地内道路の検討	75,000

# 2. 地域に開かれたキャンパスづくり

平成27年度 年度計画

- (1)・新旧キャンパス整備の前提となる「本学の目指すべき将来像」について、法人構成員との情報共有・意見交換により合意形成を図りながら、県と医大が合同で設置・運営する「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、教育・研究・診療等の各分野ごとに検討を進め、策定を行う。
- ・引き続き、将来像の実現に必要な施設整備について、「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、その基本的な考え方を「施設整備基本構想」として取りまとめるべく、検討を進める。
  - ・具体的な整備計画となる「施設整備プラン」については、「施設整備基本構想」と併行して、素案の検討を進める。(再掲Ⅱ-3)

事業名	内容	予算額 (千円)
基本構想関連業務支援委託(再掲)	医大の将来像・施設整備基本構想(ソフト面)の策定支援を委託	20,000
基本構想関連その他業務委託(再掲)	医大の将来像・施設整備基本構想に関連した各種業務委託	10,000
施設整備プラン策定支援委託(再掲)	施設整備基本構想(ハード面)・施設整備プランの策定支援を委託	20,000

### 3. 教育・研究部門等移転後の跡地活用

平成27年度 年度計画

- (1)・新旧キャンパス整備の前提となる「本学の目指すべき将来像」について、法人構成員との情報共有・意見交換により合意形成を図りながら、県と医大が合同で設置・運営する「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、教育・研究・診療等の各分野ごとに検討を進め、策定を行う。
- ・引き続き、将来像の実現に必要な施設整備について、「医大の将来像策定会議」及び「同WG」において、その基本的な考え方を「施設整備基本構想」として取りまとめるべく、検討を進める。
- ・具体的な整備計画となる「施設整備プラン」については、「施設整備基本構想」と併行して、素案の検討を進める。(再掲Ⅱ-3)

(千円)

事業名	内容	予算額
基本構想関連業務支援委託(再掲)	医大の将来像・施設整備基本構想(ソフト面)の策定支援を委託	20,000
基本構想関連その他業務委託(再掲)	医大の将来像・施設整備基本構想に関連した各種業務委託	10,000
施設整備プラン策定支援委託(再掲)	施設整備基本構想(ハード面)・施設整備プランの策定支援を委託	20,000

### 4. 移転を契機とした研究分野での地域貢献

平成27年度 年度計画

- (1)医大の将来像策定会議の結果を受けて、研究推進戦略本部で今後の評価体制を整備する。  
(再掲:Ⅲ-1)
- (2)・県民への啓発、教育・研究・診療を行うなど大和漢方医学薬学センターを運営する。  
・大学院専攻科目設置の準備を行う。(再掲:Ⅰ-3)
- (3)MBTの研究成果を生かして、国へ申請する「地域再生計画」に基づく諸事業に着手する。  
(再掲:Ⅰ-3)

(千円)

事業名・講座名	内容	予算額
研究評価委員会運営事業(再掲)	研究の適切な成果評価を行うため、外部有識者を含む評価委員会を運営	3,200
大和漢方医学薬学センター運営事業(再掲)	漢方の教育・研究、人材育成及び地域医療従事者への研修・普及を行う大和漢方医学薬学センターを運営	10,800
(新)奈良医大MBTコンソーシアム事業の推進(再掲)	MBT(医学を基礎とするまちづくり)構想実現のため、民間活力を導入する目的で結成する奈良医大MBTコンソーシアムに関連する事業を推進	
(新)ゲストハウス整備事業(再掲)	MBT構想の一環として、橿原市今井町に本学のゲストハウスを整備	50,000

## 5. 健康づくり・予防医療等への貢献

平成27年度 年度計画

- (1) MBTの研究成果を生かして、国へ申請する「地域再生計画」に基づく諸事業に着手する。  
(再掲: I - 3)
- (2) ・健康長寿大規模コホート研究について学内公募を実施する。  
・健康長寿大規模コホート研究の対象研究を決定する。(再掲: I - 4)

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 奈良医大MBTコンソーシアム事業の推進(再掲)	MBT(医学を基礎とするまちづくり)構想実現のため、民間活力を導入する目的で結成する奈良医大MBTコンソーシアムに関連する事業を推進	
(新) ゲストハウス整備事業(再掲)	MBT構想の一環として、橿原市今井町に本学のゲストハウスを整備	50,000
県民健康増進支援センター運営事業(再掲)	市町村や県が実施している健康増進事業への協力、予防医学や健康づくりの適切な情報・研究成果を提供することにより地域住民のセルフケアを支援する、県民健康増進支援センターを運営	18,800
(新) 奈良県健康長寿大規模コホート助成事業(再掲)	「奈良県健康長寿コホースタディ」に資するため、県内在住者、通学・通勤者、医療機関受診者を対象とした本学教員が行うコホート研究に対し助成	24,000

# Ⅵ 法人運営



# 法人運営予算の概要

## 第2期中期計画 VI 法人運営

### 1 ガバナンス体制の充実強化

○中期目標・中期計画を始めとし、法人の運営方針や規範等の情報について全教職員が共有し、一丸となって業務に取り組む。また、広報体制を充実し、様々な広報媒体を活用して、法人の取り組みを積極的に発信する。

### 2 ワークライフバランスの充実強化

○医師・看護師等の適正な増員と配置及び短時間正規労働制度の導入によるワークライフバランスの改善等により、仕事と生活が両立できる働きやすい職場環境の構築を図る。

### 3 同窓会・歴代卒業生との連携

○同窓会や卒業生との連携・交流を強化し、母校愛の育成と協力意識の向上を図るとともに、大学移転を踏まえた教育・研究環境の整備・充実のため、広く寄附を募る。

### 4 繰越欠損金の解消

○県からの運営費交付金を確保しつつ、効率的・効果的な大学・病院経営を行い、第2期中期目標期間において繰越欠損金の解消に努める。

# 1. ガバナンス体制の充実強化

## 1. ガバナンス体制の充実強化

### 平成27年度 年度計画

- (1) 中期目標・中期計画についてハンドブックを活用して職員への周知を図ったように、医大の将来像や行動規範についても周知方法を検討し実施する。
- (2) 中期計画・平成27年度計画について、27年度における重点管理項目を定め、項目責任者による執行役員会議において進捗管理を行う。加えて、同会議において、平成26年度の法人自己評価を行うとともに、県評価委員会の評価結果を各部局にフィードバックする。これらにより、平成27年度計画の実施において、法人自己評価の評定A(「年度計画を十分実施している」)以上の項目割合を90%以上とする。
- (3) 学報の内容をより充実させることや、引き続き、理事長・学長が本学にとって重要と考える情報や考えを全教職員及び学生へのメール配信を行う。
- (4) 職位・在職年数・年齢等に応じた職員研修を実施し、職員の資質向上に努める。

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 奈良医大プロモーション事業	本学の医療資源や技術、人材などを対外的に広く周知するため、プロモーションビデオの作成や県内外でのイベント等を実施	5,000
(新) 将来像広報事業(再掲)	医大の将来像策定会議で検討中の医大の将来像について広く周知を図り、その実現に向けた取組を着実に進める	3,900
広報事業費	新聞紙面等を活用し、法人の取組みを県民にわかりやすく発信	1,000
広報誌などの作成	学報、大学概要、大学案内の作成など、法人の情報を発信する各種広報誌を作成(法人運営事業・その他医学科入試関係諸費の内数)	
職員採用事業	法人職員の募集、採用試験の実施に必要な経費	1,600
看護師確保事業(再掲)	看護実践・キャリア支援センターとの連携を強化するとともに、情報発信の充実、学校訪問、説明会の開催、合同就職説明会やオープンキャンパスへの出展などを実施	8,200
新規採用看護師宿舎確保事業(再掲)	新規採用者を対象に、敷地外に法人がワンルームマンションを借り上げ、看護師専用宿舎を確保	13,800
(新) 職員証の発行	職員の利便向上、MBT構想への対応のため電子マネー機能付きの職員証を新たに発行	16,000
SD研修事業	階層別研修、業務スキル研修、一般スキル研修、全体研修などを実施し、職員の業務遂行に必要な知識、能力を向上	2,100
看護師研修の実施(再掲)	専門的な看護能力向上のため、認定看護管理者、認定看護師教育課程への派遣、先進病院への派遣などを実施	13,000
医療技術職研修の実施(再掲)	医療技術職の知識向上のため、各種研修や学会などへ派遣	4,700
(新) 病院TQM推進事業(再掲)	本院のTQMを推進するため、職員が自ら提案するTQM大会を開催し、成果を病院運営に反映	1,000
(新) eラーニング運営事業(再掲)	医療安全や感染管理に関する研修受講率向上のため、eラーニングを導入	5,000
健康管理事業	健康診断、予防接種など学生及び教職員の健康管理の実施や労働安全衛生管理体制の構築	21,600
共済組合補助事業	教職員が受診する人間ドック事業に対する助成	3,000

## 2. 法人の円滑な運営

(千円)

事業名	内容	予算額
防災対策整備事業	食糧や飲料水、装備品など、災害時に必要な物品を計画的に備蓄	6,600
情報システムの運営・整備	学内ネットワークの運営管理、ホームページの管理、情報セキュリティ研修の実施、IT機器一括購入等 (27)グループウェア導入 3,826	42,800
(新)ペーパーレス会議システム導入	役員会などの会議におけるペーパーレス化を推進するため、タブレット端末を使用したペーパーレス会議システムを試験導入	6,500
人事給与システム・財務会計システムの維持管理	人事給与システム、財務会計システムの保守委託	12,800
監査法人報酬	地方独立行政法人法第35条の規定に基づき、会計監査人と契約し、会計監査を実施	10,000
長期借入金償還金	法人化後の施設整備や医療用備品の購入に当たって、県から借り入れた長期借入金の償還金	1,343,200
短期借入金利息	法人の資金不足に対応するために金融機関から借り入れる単年度運転資金に対する償還利息	700
光熱水費・燃料費	大学(一般管理部門含む)の冷暖房などに必要な電気、ガス、水道などの光熱水費・燃料費	203,500
庁舎管理委託費	清掃や設備の保守点検、警備など大学(一般管理部門含む)の施設の管理にかかる各種委託	110,600
事務局等その他管理費	大学(一般管理部門含む)の施設や設備の修繕費や修繕・管理消耗品の購入経費など	35,200
火災保険関係費	法人の財産などを守るため、企業財産包括保険、自動車保険、運送保険、賠償責任保険などの損害保険に加入	4,500

## 2. ワークライフバランスの充実強化

### 平成27年度 年度計画

- (1)ワークライフバランスの推進について、ワークライフバランス検討委員会において継続的に検討を行う。(再掲IV-1)
- (2)平成25、26年度に実施したアンケート調査結果を集計、分析する。  
・職員のニーズを把握し、看護師の離職防止等具体的な諸施策を作成する。(再掲IV-1)

(千円)

事業名	内容	予算額
保育園の運営(再掲)	職員の保育ニーズに対応するため、定員増(60名→90名)、運営委託、病児保育委託を実施 (うち保育料等収入 43,100千円)	89,500
保育園の整備(再掲)	平成26年度に増築した保育園の一体運用のための整備、定員増に対応するための厨房設備の整備など	8,600
(新)ワークライフバランス充実強化事業(再掲)	ワークライフバランス充実のための職員の意識調査、短時間勤務制度拡充による部分休業取得職員の代替職員の確保経費	3,000

### 3. 同窓会・歴代卒業生との連携

平成27年度 年度計画

- (1) 同窓会と連携し、開学70周年記念式典の開催および記念誌の発行を行う。
- (2) 開学70周年を契機に、医学科・看護学科同窓生に対し、大学移転を踏まえた教育・研究環境の整備・充実のための寄附金の募集を行う。

事業名	内容	予算額 (千円)
(新) 開学70周年記念事業	開学70周年を記念して式典を開催、記念誌を発行	11,000
(新) 募金推進事業	開学70周年を契機として、教育・研究等のさらなる充実を図るためハード・ソフト両面にわたる環境整備を行う「未来への飛躍基金」を設置し、募金を開始	9,700

### 4. 繰越欠損金の解消

平成27年度 年度計画

- (1) 法人全体の財務分析・附属病院のSWOT分析等により、経営上の課題を抽出し、改善方策を検討・実行するとともに、改善方策を反映させた予算や中長期的収支計画を策定する。
- (2) 適切な水準の病床稼働率の確保、平均在院日数の適正化、施設基準の取得・維持等により診療収入の確保を図るとともに、精度向上による診療報酬請求の一層の適正化、債権の適正な管理による未収金の抑制を図る。  
また、H28診療報酬改定の情報を収集し、必要な対応方針を決める。
- (3) 価格交渉や安価な代替品への切替等により、医薬・診療材料費を抑制し、医薬・診療材料費比率の逡減を図る。
- (4) 投資効果や人員配置効果を検証し、課題に対し、改善方策を検討・実行するとともに、改善方策を反映させた予算や中長期的な収支計画を策定する。

事業名	内容	予算額 (千円)
(新) 診療材料等コスト削減対策事業	専門業者の保有する診療材料データベースを活用することにより価格交渉を行い、診療材料費の削減を図る	2,900
経営支援システム運営事業	附属病院の経営課題を浮き彫りにし、コストと効果の最適化を支援する経営支援システムの運営	1,300
DPC適正コーディング精度向上事業	適正なDPCコーディングを行える人材を育成するため、手法のルール化、職員のトレーニングの実施について委託	4,300
保険担当育成事業	保険診療への理解を深めるため、保険医への診療関連図書の配布、保険診療に関する研修会を開催	700
レセプト院内審査支援システム事業	診療報酬請求の精度向上のため、レセプトチェックの機械化による業務の適正化、効率化	4,500
診療報酬請求強化対策	診療報酬関連各種講習受講に係る経費、レセプトの保留・返戻・減点を減少させるための詳細な資料等の購入経費	3,900
未収金対策事業	回収が困難となっている病院医療費の患者未収金の回収を図るため、債権回収会社への委託や法的措置等を実施	3,700